

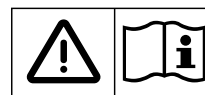
バッテリー式スクラバードライヤー

SC6500

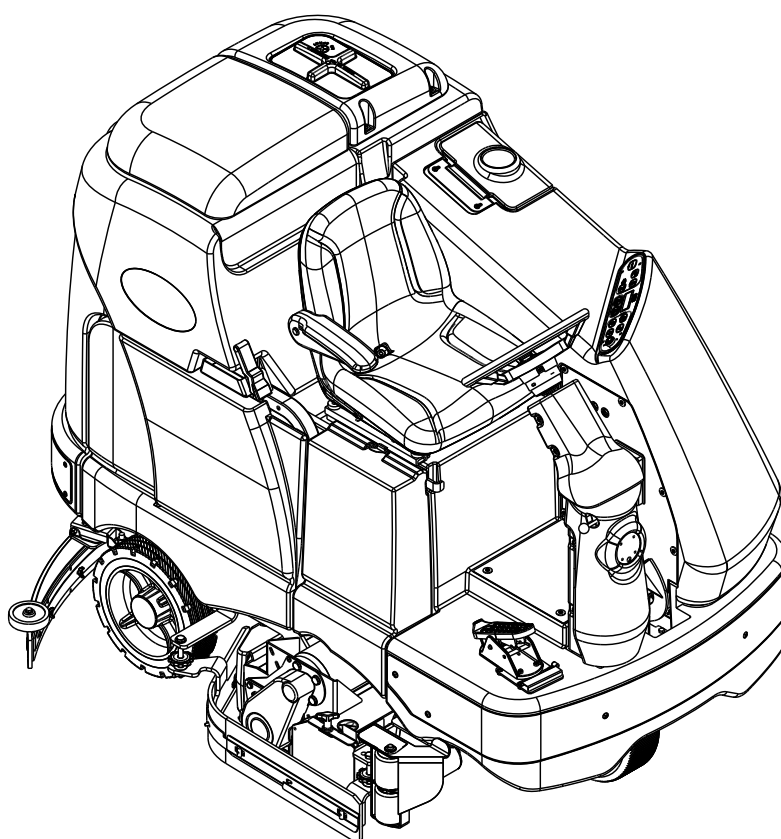
取扱説明書



2/14 revised 12/14 REV B
FORM NO. 56091101



ecoflex™



モデル:

56414022(1100D), 56414023(1100C)
56414024(1300D), 56414025(1300C)

2017/03



目次	ご使用になる前に2
	取扱説明書の保管について.....2
	製品情報.....2
	開梱.....3
	本機の移動.....3
	安全にお使いいただくために4
	危険 / 警告 / 注意 表示.....4
	各部名称7
	全体図.....7
	コントロールパネル.....9
	製品仕様10
	使用前の準備11
	バッテリーの取り付け.....11
	ブラシの取り付け(ディスクモデル).....13
	ブラシの取り付け(シリンダーモデル).....14
	洗浄水清水タンク注入.....15
	スクイジーの取り付け.....16
	EcoFlex システム(オプション)の準備と使用方法17
	洗剤の排出方法.....17
	洗剤交換時の排出方法.....17
	週 1 回の排出方法.....17
	洗剤希釈率の設定19
	最大希釈率設定方法.....19
	最小希釈率設定方法.....20
	操作方法21
	ワンドキットの使用方法25
	使用後のお手入れ26
	メンテナンス27
	メンテナンススケジュール.....27
	機械への注油.....28
	バッテリーのメンテナンス/充電.....29
	バッテリー液レベルの確認.....30
	スクイジーのメンテナンス.....31
	スクイジーの調整方法.....31
	サイドスカートのメンテナンス.....33
	サイドブラシのメンテナンス.....35
	トラブルシューティング37
	エラーコード.....38
	付属品/オプション39
	材料の組成と再生可能率39
	洗浄水流量39
	アフターサービスと保証40

この度は、バッテリー式スクラバードライヤーSC6500 を
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

◆ ご使用になる前に

この取扱説明書には本機の操作、調節、点検などに必要な事項が記載されています。
ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、各機能を十分ご理解のうえ、末永くご愛用
いただきますようお願いいたします。

- 本機の操作を行なう前に、作業員とサービスマンは必ず本書をよくお読みください。
- アフターサービスなどはお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。
- スペアパーツ、アクセサリなどは必ず弊社純正部品を使用してください。
- ユーザーご自身で勝手に改造や部品を追加装備することは本機の性能や安全性を損なう恐れがあり、保証の対象外になりますのでご注意ください。
- 本機は商業用(ホテル、学校、病院、工場、小売店、オフィスなど)スクラバーであり、通常の住宅における日常的な掃除を目的とはしていません。
- 取扱説明書の解釈、その他の情報に関して質問などがあれば、弊社までご連絡ください。

取扱説明書の保管について

本書は水やその他の物質からの損傷を防ぐため、適当なケースの中に入れて、本機の近くで保管してください。

製品情報

本機の型番とシリアル番号が製品プレートに記載されています。
今後のスペアパーツの注文等に備え、以下の表に製品情報を記入してください。

型 番	: SC6500 — _____
シリアルナンバー	: _____

今後のサービスのため、取扱説明書は大切に保管願います。



注記

()内の数字は指定がない限り、P7～9の各部名称のページを参照してください。

開梱

本機が配送されてきた(受け取られた)際に、外箱や本体に輸送中の破損などがないか確認してください。

目視で破損が確認できる場合には、外箱を保管して配送会社にご連絡ください。

また、破損があった旨、弊社サービスセンターまでご連絡ください。

パレットからの移動は本機同封の開梱指示シートに従ってください。

本機の移動



注意！

本機をトラックやトレーラーなどから降ろす際は下記のことにご注意ください。

- アクセスパネルなどの開口部ドアがすべて閉まっていることを確認してください。
- 固定ポイント(30)を参照し、本機がパレットなどに固定されていることを確認してください。
- パーキングブレーキ(6)がかかっていることを確認してください。

◆ 安全にお使いいただくために

危険 / 警告 / 注意 表示

本書では潜在的な危険を表すために、以下のマークを使用しています。
表示を全てよくお読みのうえ、人的・物的被害を避けるために必要な手順を行ってください。
また、本機体上に貼られている黄色の警告ラベルの注意事項もよくお読みください。



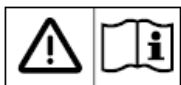
危険！ : 人身事故が発生し、死亡または重大な後遺症につながる危険を警告



警告！ : 人身事故が発生し、重傷、場合によっては死亡につながる危険を警告



注意！ : 軽傷や、物的被害を与える可能性がある事項



参照

操作する前に、本書を参照する必要があることを示しています。



注記

使用上の重要な情報や有益な情報です。



警告！

- 本機は、適切なトレーニングを受け、認証された作業員だけが使用するようになっています。
- 本機は身体的、感覚的、精神的な能力において本機の使用に適していない人（子どもを含む）や経験および知識に欠ける人が使用することを想定していません。
- 傾斜面では決して急停止、急旋回をしないでください。
- 傾斜面を下りるときは速度を落としてください。
- 通常の動作時でも爆発性ガスが発生します。
バッテリーに火花、火炎、燃えているものを近づけないでください。
- バッテリー充電中は爆発の多い水素ガスが生成されます。
適切に換気されている場所で、必ず火気を遠ざけてください。
決して近くで喫煙はしないでください。
- 電気部品の近くで作業するときは、アクセサリなどすべての装身具を外してください。
- 電気部品の修理の前は、キースイッチをオフ(O)にし、バッテリーの接続を外してください。
- 本機を安全に固定するブロックや架台なしに、本機の下で作業しないでください。
- 可燃性の洗浄剤を使用したり、そのような洗剤の上または近くで本機を操作したり、可燃性液体がある区域で本機を運転しないでください。
- コントロールパネル、サーキットブレーカーパネル、バッテリーを高圧洗浄しないでください。
- ブラシ類は純正品または弊社指定の製品を使用してください。
それ以外のブラシを使用すると安全性が損なわれる恐れがあります。
- 本機を積み込む、運転する、持ち上げるおよび支えるときには、本機の車両総重量(GVW)に従ってください。



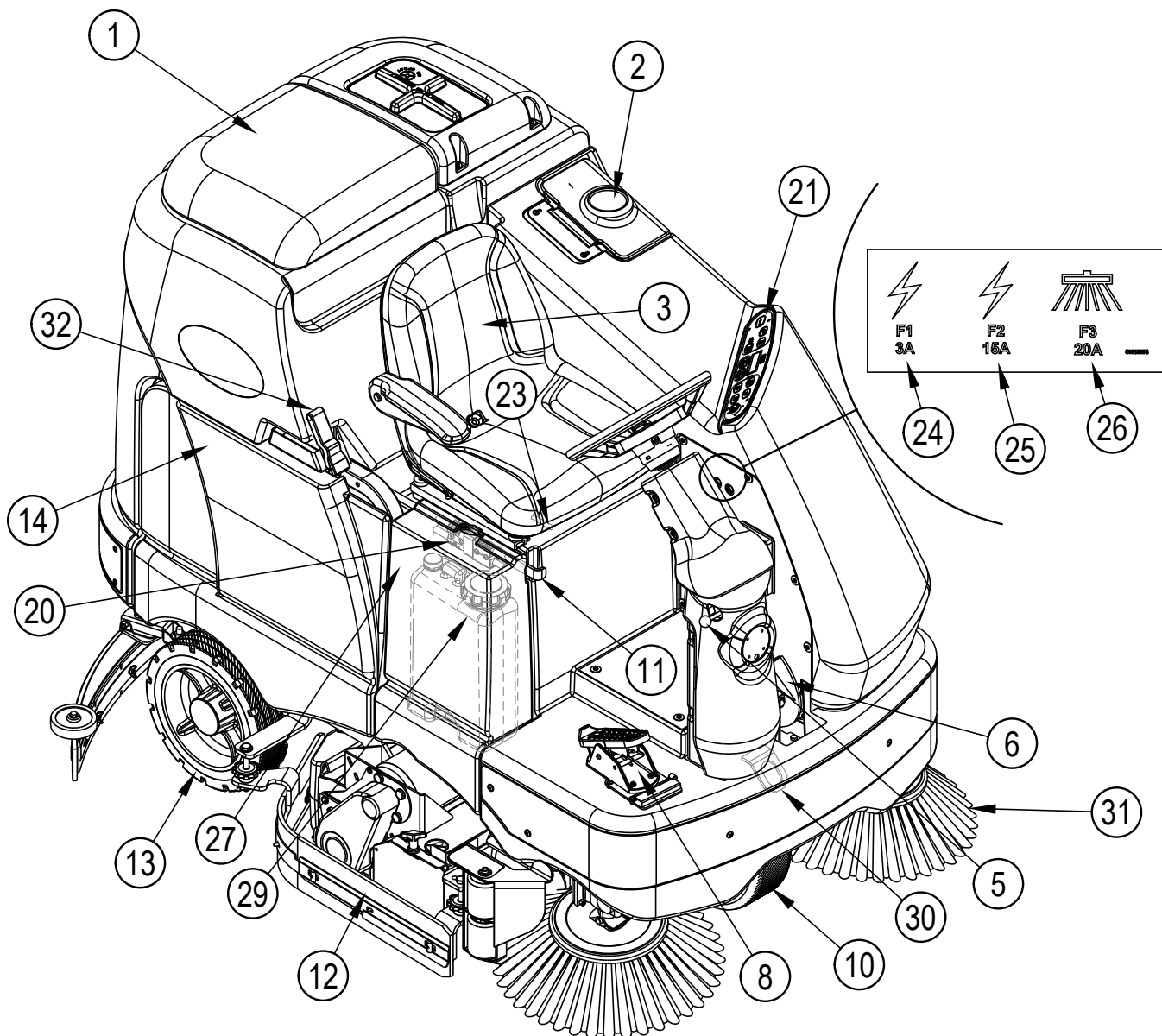
注意！

- 作業者は本書の指示内容を熟知してから本機を使用してください。
- 不明な点があれば、作業監督者または弊社サービスセンターまでご連絡ください。
- 不具合があった場合、作業監督者から指示がない限り、修理をしないでください。
有資格者または弊社サービスセンターまでご連絡ください。
- 細心の注意を払って作業を行ってください。
- 可動部に毛髪、装身具、たるんだ衣類などが巻き込まれないように十分に注意してください。
- メンテナンスを行う際は、その前に必ずキースイッチをオフ(O)にし、キーを抜いてください。
- 本機を降りるときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。また、本機を離れる際はキースイッチをオフ(O)にしてください。
- 常識に従って安全に本機を操作し、本体上の黄色い注意表示シールもよく読んでください。
- 傾斜面で本機を移動させる際は、ゆっくりと移動させてください。
傾斜面を下りるときはブレーキペダル(6)を踏み速度を調整してください。
- 上る際も下る際もハンドルを切らずに真っ直ぐ走行してください。
- 作業時の傾斜限度は 10%、移動時の傾斜限度は 16%です。
- 傾斜限度を超えた箇所では使用しないでください。
- 本機の公道での使用は認められていません。
- 本機は有害な粉塵の清掃には適していません。
- 表面剥離用ディスクや砥石は使用しないでください。
これらのディスク使用による床面への損傷に対して、弊社は責任を負いません。
(ブラシ駆動システム損傷の原因にもなります)
- 本機を操作するときは、第三者(特に子ども)への危険がないことをよく確認してください。
- メンテナンスを行う際は、その機能に関するすべての指示をよく読んでください。
- メインブラシ・サイドブラシを交換する前、アクセスパネルを開ける前には必ず、キースイッチをオフ(O)にし、キーを抜いてください。
- 気温が 0° 以下の環境で本機を操作する際は十分に注意してください。
清水／回収／洗浄剤タンク内、またはホース内の水が凍結し、弁や接続金具を損傷させることがあります。このような場合は、凍結防止洗浄液で洗い流してください。
- 本機を廃棄する際には、その前にバッテリーを取り外してください。
バッテリーの廃棄は、使用地域における環境規制に従って安全に行ってください。
- 本機を使用する前に、すべてのドアおよびカバーが本書に記載されている位置にあることを確認してください。

◆ 各部名称

全体図

1. 回収タンクカバー
2. 清水タンク給水口カバー
3. 運転席
4. 清水タンク排水ホース
5. ハンドル調整ノブ
6. ブレーキペダル/パーキングブレーキ
7. 清水シャットオフバルブ
8. ドライブペダル 進行方向/速度調整
9. ホッパー (シリンダーモデルのみ)
10. ドライブ・ステアリングホイール
11. 緊急停止/バッテリー切断スイッチ
12. スクラブデッキ
13. リアホイール
14. バッテリーコンパートメント
15. 回収タンク シャットオフフロート

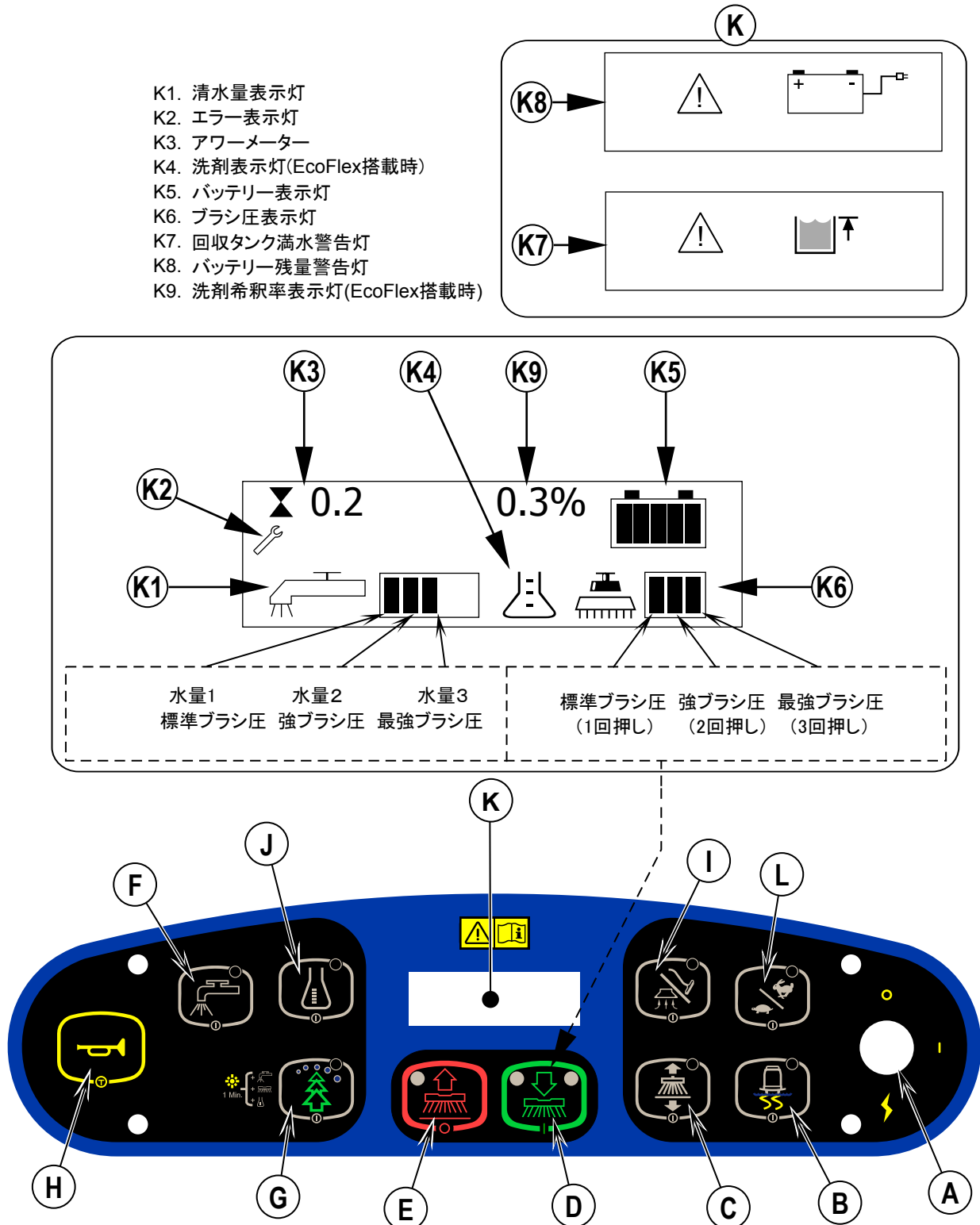


- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 16. バキュームモーターフィルターハウジング | 25. 補助ユーズ |
| 17. スクイジーアセンブリー | 26. サイドブラシモーターヒューズ |
| 18. 清水フィルター | 27. サイドアクセスパネル |
| 19. 回収タンク排水ホース | 28. スクイジー高さ調節ノブ |
| 20. バッテリーコネクタ | 29. 洗剤カートリッジ(EcoFlex モデル:オプション) |
| 21. コントロールパネル | 30. 固定ポイント |
| 22. スクイジー角度調整ノブ | 31. サイドブラシ(モデルによる) |
| 23. 運転席調整レバー | 32. 回収タンクラッチ |
| 24. コントロールヒューズ | |

コントロールパネル

- A. キースイッチ
- B. トラクションコントロールスイッチ
- C. サイドブラシスイッチ(シリンダーモデルのみ)
- D. スクラブON/スクラブモードスイッチ
- E. スクラブOFFスイッチ
- F. 清水スイッチ
- G. EcoFlexスイッチ
- H. ホーン(警笛)
- I. バキューム/ワンドスイッチ
- J. 洗剤システムスイッチ(EcoFlex搭載時)
- K. ディスプレイ
- L. スクラブスピードスイッチ

- K1. 清水量表示灯
- K2. エラー表示灯
- K3. アワーメーター
- K4. 洗剤表示灯(EcoFlex搭載時)
- K5. バッテリー表示灯
- K6. ブラシ圧表示灯
- K7. 回収タンク満水警告灯
- K8. バッテリー残量警告灯
- K9. 洗剤希釈率表示灯(EcoFlex搭載時)



◆ 製品仕様

項目	技 術 仕 様			
モデル名	SC6500 (1100C)	SC6500 (1100D)	SC6500 (1300C)	SC6500 (1300D)
モデルNo.	56414023	56414022	56414025	56414024
電圧	36V			
バッテリー容量	480Ah			
保護グレード	IPX3			
音圧レベル IEC 60335-2-72: 2002	70 dB(A) / 20 μ Pa			
重量(タンク満水、バッテリーあり)	1,508 kg	1,460 kg	1,547 kg	1,506 kg
車両本体のみ重量 / 輸送重量	1,314 kg	1,266 kg	1,353 kg	1,312 kg
フロントタイヤ最大荷重	8.15 kg/cm ²			
リアタイヤ最大荷重(右)	5.69 kg/cm ²			
リアタイヤ最大荷重(左)	6.04 kg/cm ²			
登坂能力(移動時)	16% (9°)			
登坂能力()	10.5% (6°)			
全長	1,870 mm			
全高(オーバーヘッドガード付)	1,486 mm (2,130 mm)			
全幅(スクイジーを除く)	1,210 mm	1,080 mm	1,410 mm	1,330 mm
全幅(スクイジーあり)	1,250 mm		1,450 mm	
最小回転幅	2,140 mm			
清水タンク容量	265 L			
回収タンク容量	265 L			
最高速度 前進/後進	9.5 / 5.0 km/h			
バッテリー収納場所サイズ LxWxH	806 x 508 x 482 mm			
ブラシ径(シリンダーモデル)	216 mm	—	216 mm	—
ブラシ長(シリンダーモデル)	974 mm	—	1,184 mm	—
ブラシ径(ディスクモデル)	—	2 x 508 mm	—	3 x 430 mm
ブラシ回転速度	630 rpm	240 rpm	630 rpm	225 rpm
ホッパー容量(シリンダーモデル)	11 L	—	14 L	—
清掃(スクラブ)幅	1,010 mm		1,220 mm	
清掃幅(サイドブラシ付シリンダーモデル)	1,450 mm	—	1,450 mm	—

◆ 使用前の準備

バッテリーの取り付け



警告！

- 作業を行う前に必ず、説明書の内容をよく理解してから行ってください。
- 希硫酸のバッテリー液が皮膚に付着したり目に入ると重傷を負う原因となります。
- バッテリーの充電をするときは、本機の電源を全て切ってください。
- バッテリーキャップを開けると水素ガスが発生し、電気アーク、スパーク、火炎によって発火の恐れがあります。
- 鉛酸性バッテリーを密閉された容器や箱などに設置しないでください。
過充電により発生する水素ガスを換気する必要があります。

バッテリーのメンテナンスを行うときは：

- 貴金属、アクセサリーを外してください。
- たばこを吸わないでください。
- 保護メガネ、ゴム手袋およびゴムエプロンなどの保護具を着用してください。
- メンテナンス、充電は換気のよい場所で行ってください。
- 同時に複数のバッテリーターミナルに工具を接触させないでください。
- バッテリーの交換時は、スパークの発生を防ぐために常にマイナス極（グランド側）ケーブルから外してください。
- バッテリーの取り付け時は常にマイナス極（グランド側）ケーブルを最後に接続してください。



注意！

バッテリーの取り付けや接続に不備があると、電気部品に重大な損傷を起こす恐れがあります。
バッテリーの取り付けは弊社サービスセンターまたは有資格者が行ってください。

1. 梱包箱からバッテリーを取り出し、破損などがいないか確認してください。

目視で破損が確認できる場合には、配送会社またはバッテリーメーカーにご連絡ください。

2. キースイッチ(A)をオフ(O)にし、キーを抜いてください。
3. 本機から回収タンクを外してください。

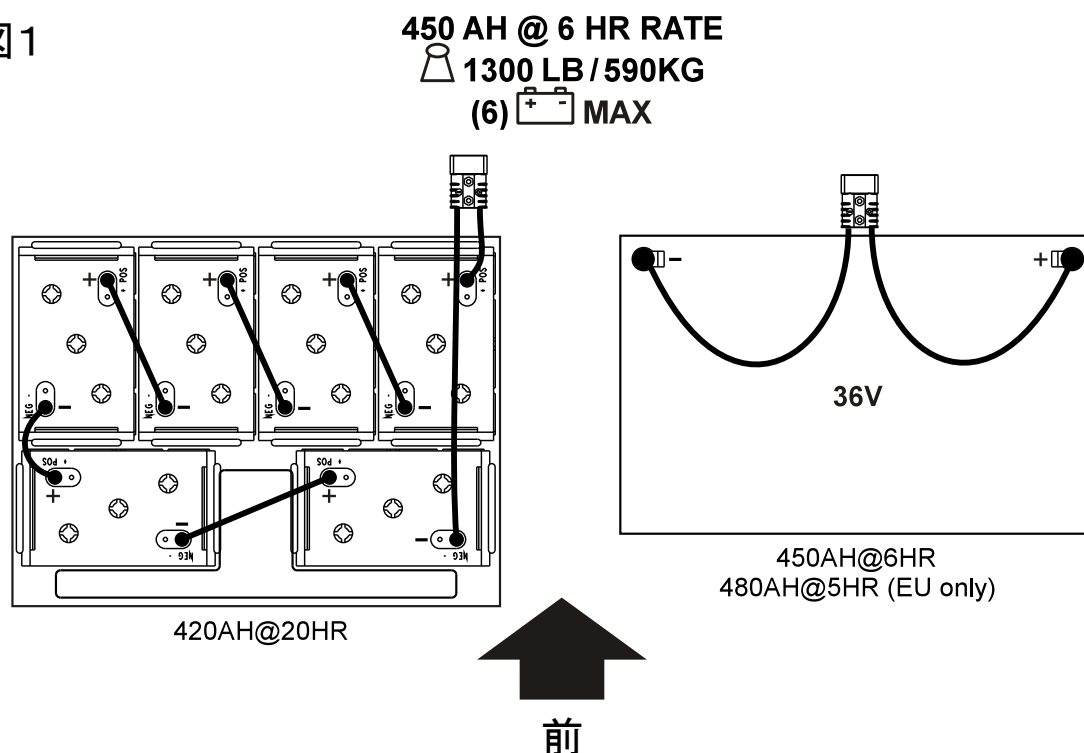


注記

固定ロープとバキュームモーターワイヤーを外し、タンクをまっすぐ上に持ち上げて、外してください。

4. 6Vバッテリー x 6個をつなぐのに必要なケーブルが装備されていることを確認してください。
リフト用ストラップを使用し、必ず二人以上でバッテリーを取り付けてください。
図1を参照し、できるだけ本機の前方に寄せて取り付け、固定してください。
モノブロックバッテリーを取り付ける場合はリフト用ホイスを使用してください。
5. 図1を参照し、バッテリーケーブルをつなぎます。
このようにつなぐと、メンテナンス時のバッテリーキャップの開閉が容易になります。
6. ターミナルが回らなくなるまで各ターミナルネジを締めます。
今後のサービスのため、締めすぎにご注意ください。
7. バッテリーターミナル用コーティングスプレーを塗布してください。
8. 各ターミナルを黒いゴムカバーで覆い、バッテリーコネクター(20)につなぎます。

図1



ブラシの取り付け(ディスクモデル)

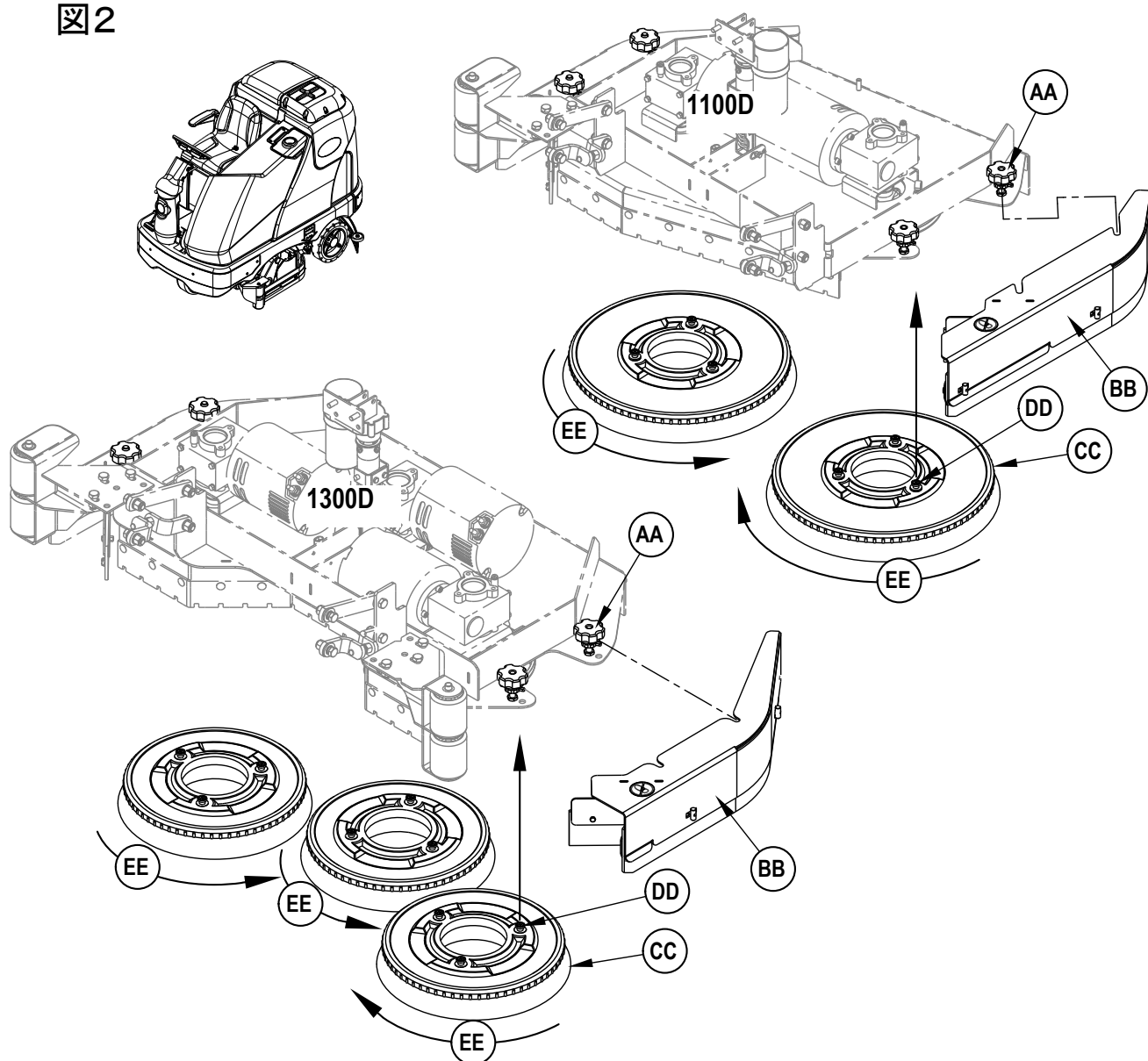


注意！

ブラシの交換やアクセスパネルの開閉前には必ず、キースイッチをオフ(O)にして、キーを抜いてください。

1. スクラブデッキが上がった状態で、キースイッチ(A)がオフになっていることを確認してください。
2. 図2を参照し、両側のサイドスカート部を取り外します
注:スカートはノブ(AA)2箇所固定されています。
ノブを緩めてスカート部(BB)を取り外してください。
3. ブラシ(CC) (またはパッドホルダー)を取り付けるには、ラグ(DD)をマウンティングプレートの穴に差し込み、回して固定します。(側面の縁を前方向(図のEEの方向)に回してください。)

図2



ブラシの取り付け(シリンダーモデル)

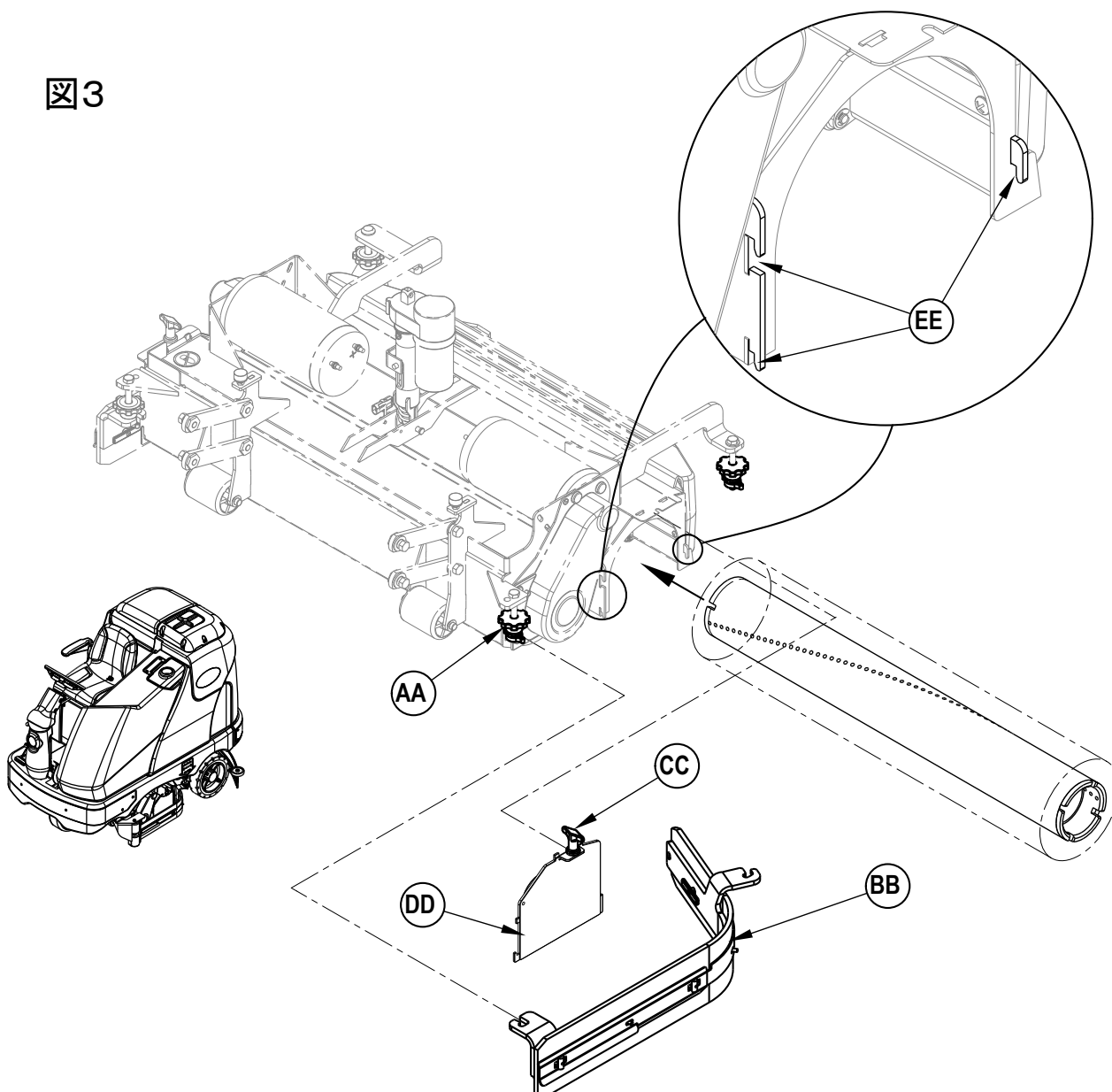


注意！

ブラシを交換する前には必ず、キースwitchをオフ(O)にして、キーを抜いてください。

1. スクラブデッキが上がった状態で、キースwitch(A)がオフになっていることを確認してください。
2. 図3を参照し、両側のサイドスカート部を取り外します。
注:スカートはノブ(AA)2箇所所で固定されています。
ノブを緩めてスカート部(BB)を取り外してください。
3. アイドラーアッセンブリー上部(DD)の黒いノブ(CC)を十分緩め、アイドラーを下方に動かしノッチ(EE)から取り外します。
4. ブラシをハウジングに差し込み、軽くブラシを持上げるようにして押し回して取り付けます。
アイドラー部(DD)とスカート部(BB)を取り付けます。

図3



清水タンク注水

- ・ 図4を参照し、最大265リットルの洗浄溶液を注水してください。
- ・ 注ぎ口(2)の下7.5cmまでの注水で止めてください。
- ・ 洗浄溶液は作業内容に応じて水と洗剤を混合してください。
- ・ 洗剤の希釈はラベル表示に従って行ってください。



注記

EcoFlexシステムを搭載している場合でも、洗剤を清水タンク内に混合して使用することができます。

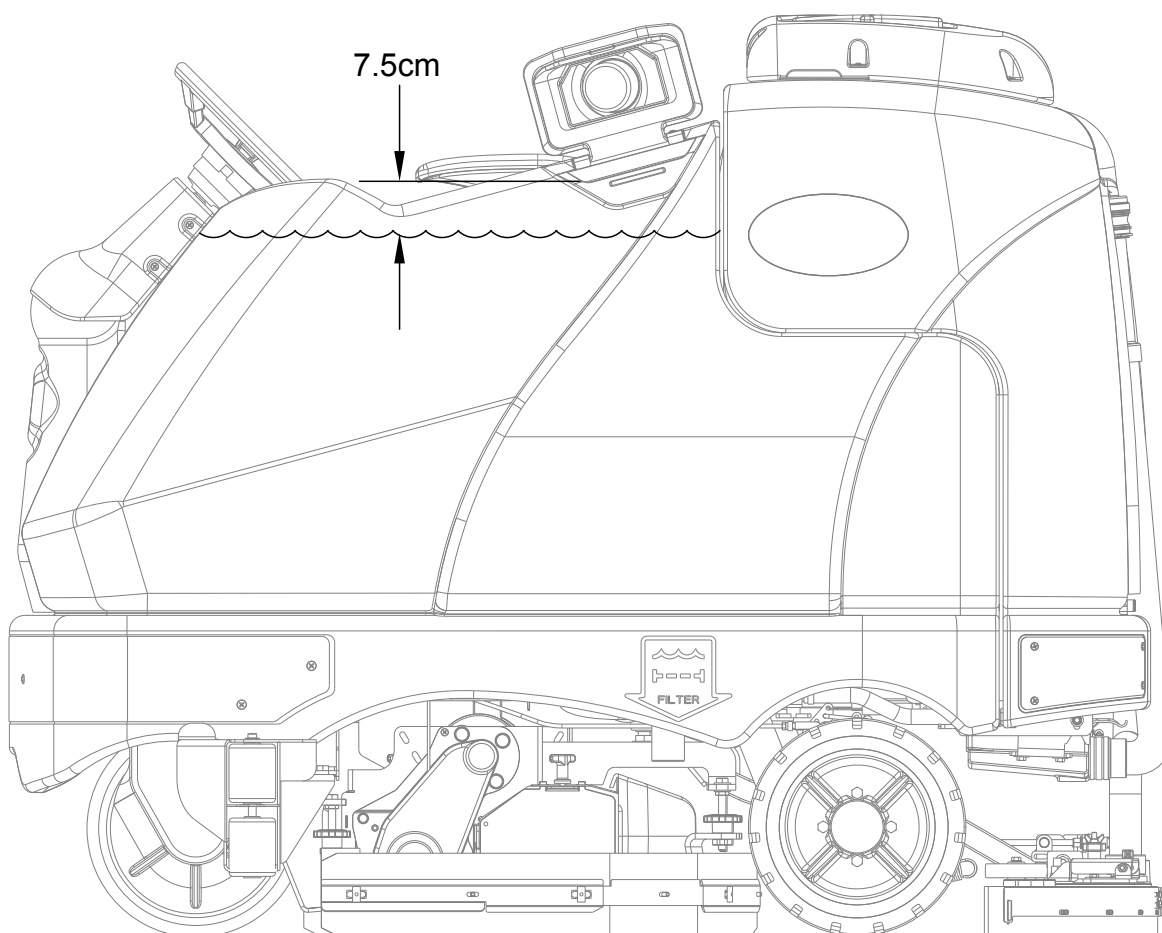
ただし、洗剤希釈装置を使用するときは、タンクには清水のみを注入し、洗剤を混合しないでください。



注意！

洗剤は低発泡性で発火性のないものを使用してください。水の温度は54度を超えないようにしてください。

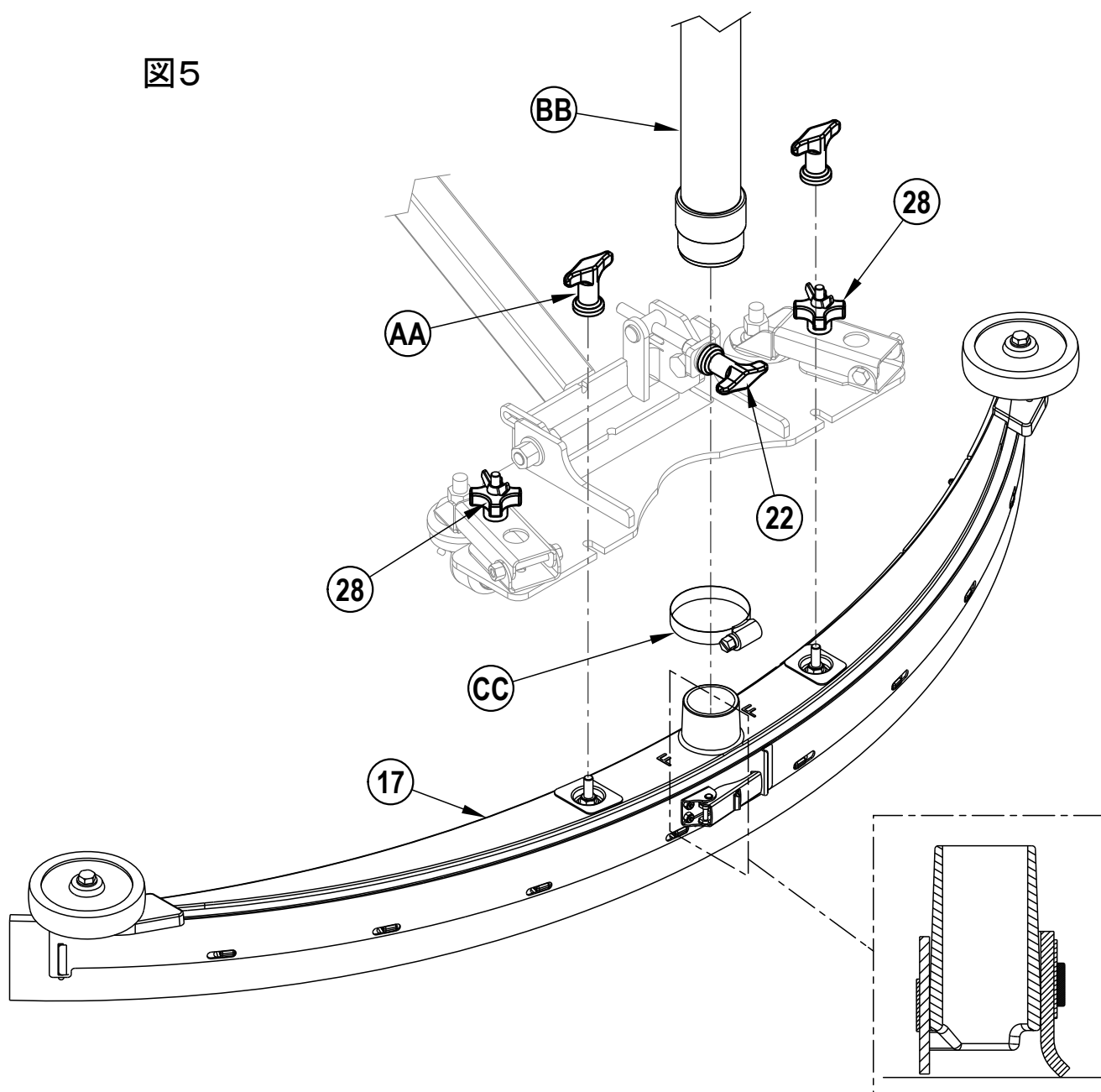
図4



スクイジーの取り付け

1. 図5を参照し、スクイジーアッセンブリー(17)をスクイジーマウントブラケットに取り付け、蝶ネジ(AA)で固定してください。
2. 回収ホース(BB)をスクイジーインレットに差込み、ホースクランプ(CC)で固定してください。
3. スクイジーの調整の項を参照し、角度と高さを調整してください。

図5



スクイジー断面図

◆ EcoFlex システム(オプション)の準備と使用方法

EcoFlexシステム搭載モデルは、洗剤カートリッジ(29)がサイドアクセスパネル(27)の背後に装備されています。カートリッジ容量は最大8.32リットルです。



注記

- ・ 洗剤を注入するときは、本機に洗剤が付着するのを防ぐため、カートリッジボックスからカートリッジを取り外してください。
- ・ 使用する洗剤ごとに別々のカートリッジを使用することをお勧めします。
- ・ 種類の異なる洗剤の混入を防ぐために、洗剤カートリッジ側面の白ラベルに洗剤名を記入してください。
- ・ 別の洗剤に切り換える時、システムに前の洗剤が残らないようにしてください。
- ・ 新しいカートリッジを取り付ける時は、キャップ(AA)を取り外してからボックスに取り付けてください。
- ・ 図6を参照し、ドライブレイクキャップ(BB)と洗剤ホースを取り付けてください。

洗剤の排出方法



注記

- ・ 少量の洗剤が流出するので、排出作業は本機を排出場所まで移動させてから行ってください。
- ・ 排出作業は10秒程度要します。通常、1回の作業で排出が完了します。
- ・ 図7のEcoFlexシステムの表示イラストを参照してください。

洗剤交換時の排出作業(スクラブ/洗浄水システムはOFF)

1. キャップ(AA)、キャップ(BB)、ホースを外し、カートリッジを取り外します。
2. キースイッチ(A)をオンにします。
3. 洗浄水スイッチ(F)と洗剤スイッチ(J)を3秒間押しつづけます。
洗剤排出アイコン(K10)が表示し、洗剤表示灯(J1)が点滅したらスイッチを離します。

週1回の排出作業(スクラブ/洗浄水システムはOFF)

1. 洗剤カートリッジを取り外します。きれいな水を入れた別のカートリッジを取り付けます。
2. キースイッチ(A)をオンにします。
3. 洗浄水スイッチ(F)と洗剤スイッチ(J)を3秒以上押しつづけます。
排出アイコン(K10)が表示し、洗剤表示灯(J1)が点滅したらスイッチを離します。



注記

長期間保管する場合やEcoFlexシステムの使用を休止する場合は、週1回の排出作業を行ってください。

図6

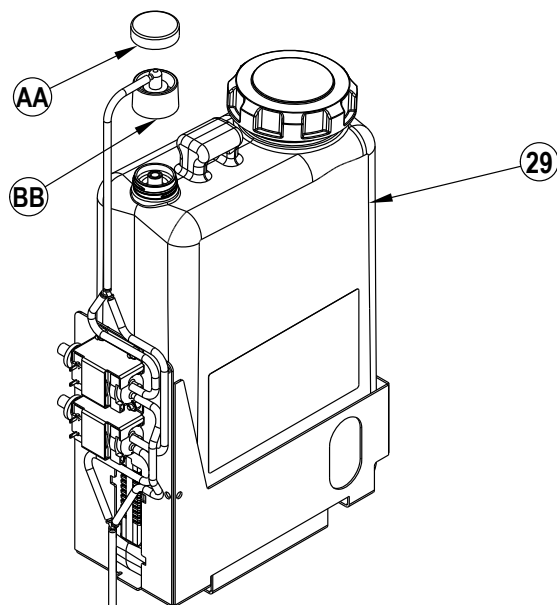
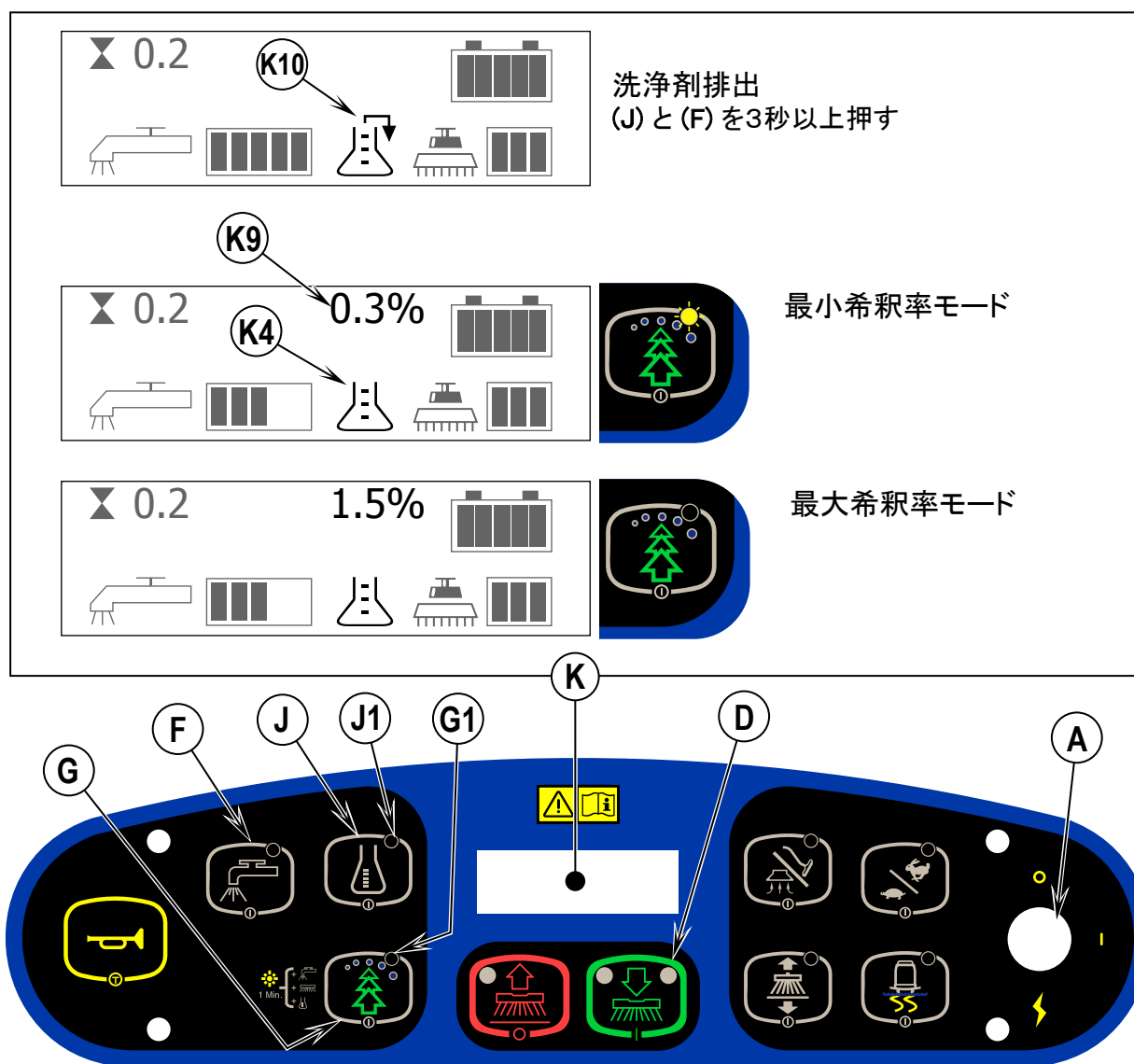


図7



洗剤希釈率の設定（スクラブ/洗浄水システムはON）

スクラブおよび洗剤システムを起動し、ドライブペダル(8)が踏まれるまでは洗剤は放出されません。

洗剤システムがオンの時、常に洗剤(希釈率)アイコン(K4)が表示されます。

各種設定は図8を参照してください。

EcoFlexシステムには4つのモードがあります：

1. **清水洗浄モード**: 洗剤システム(J)をオフにすることで、清水のみによる洗浄を行います。洗剤表示灯(J1)はオフになります。
2. **最小希釈率モード**: EcoFlex表示灯(G1)がオンになります。EcoFlexスイッチ(G)を2秒間押し続けることで、事前に設定した最小希釈率の洗剤量で洗浄を行います。下記の「最小希釈率設定方法」のステップを参照してください。
3. **最大希釈率モード**: EcoFlex表示灯(G1)がオフになります。EcoFlexスイッチ(G)を2秒間押し続けることで、事前に設定した最大希釈率の洗剤量で洗浄を行います。下記の「最大希釈率設定方法」のステップを参照してください。洗剤メーカーの推奨希釈割合を超える濃度レベルを設定しないでください。
4. **EcoFlex洗浄モード**: EcoFlex スイッチ(G)を押すと、一時的(1分間)に洗剤が事前に設定した最大希釈率に上がり、また、洗浄水量、スクラブ圧がともに1つ上のレベルに上がります。1分間、EcoFlex表示灯(G1)が点滅します。

最大希釈率設定方法(こちらを先に設定してください)

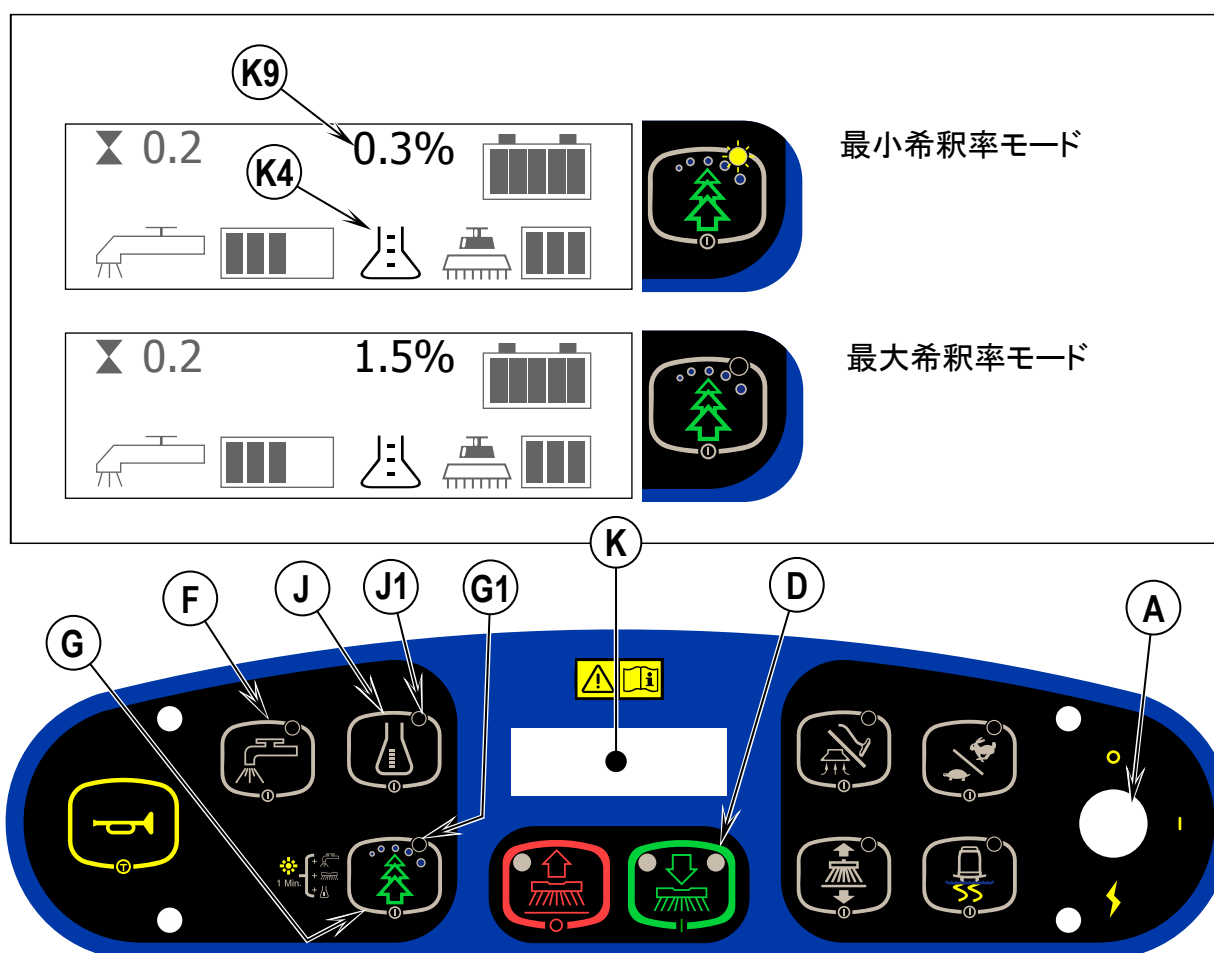
1. OneTouch™洗浄スイッチ(D)を押してスクラブシステムを起動します。
2. EcoFlex表示灯(G1)がオフになるまでEcoFlexスイッチ(G)を2秒間押し続けます。(最大希釈率モード)
3. 表示灯(J1)が点滅するまで、洗浄剤システムスイッチ(J)を2秒間押し続けます。
4. 表示灯が点滅している間に洗浄剤システムスイッチ(J)を押すごとに、希釈率が順に切り換わります。(0.25%, 0.3%, 0.4%, 0.5%, 0.66%, 0.8%, 1%, 1.5%, 2%, 3%)
5. スクリーン(K9)に希望する希釈率が表示されたら、そのままにしておくと、3秒後にこの設定が保存されます。
6. 最大希釈率設定値が、現在の最小希釈率設定値よりも低い場合は、作業者が変更しない限り、最小希釈率は最大希釈率の設定値と同等になります。

最小希釈率設定方法

1. OneTouch™洗浄スイッチ(D)を押してスクラブシステムを起動します。
2. EcoFlex表示灯(G1)がオンになっていること確認してください。(最小希釈率モード)
3. 表示灯(J1)が点滅するまで、洗剤システムスイッチ(J)を2秒間押し続けます。
4. 表示灯が点滅している間に洗剤システムスイッチ(J)を押すごとに、希釈率が順に切り換わります。設定した最大希釈率より低い、または同等の希釈率の設定が可能です。
5. スクリーン(K9)に希望する希釈率が表示されたら、そのままにしておくと、3秒後にこの設定が保存されます。

洗剤希釈率を設定すると、洗剤放出量は洗浄水量に合わせて自動的に増減し、一定の希釈率を保ちます。

図8



◆ 操作方法



警告！

操作方法や機能を十分に理解してから使用してください。
傾斜面では急停止、急旋回を避け、下り坂では低速で走行してください。

各種操作方法是図9を参照してください。

1. 運転席に腰掛け、座席調整レバー(23)とハンドル高さ調整ノブ(5)で作業しやすい位置に調整してください。
2. キースイッチ(A)をオン(1)にします。
コントロールパネルの表示灯が点灯します。
バッテリー表示灯(K5)とアワーメーター(K3)を確認してください。
3. パーキングブレーキ(6)を解除します。
アクセルペダルを一定の力で踏み、作業場所まで移動します。
アクセルペダル(8)を前に踏むと前進、後ろに踏むと後進します。
4. 洗浄水スイッチ(F)を5秒間押してあらかじめ床を湿らせます。



注記

あらかじめ床を湿らすことで、床を傷つけるのを防ぎます。
必ず、スクラブONスイッチ(D)を入れる前に行ってください。

5. スクラブONスイッチ(D)を入れ、押す回数により次の洗浄モードに設定されます。
1回押し: 通常のスクラブ圧洗浄モード
2回押し: 強めのスクラブ圧洗浄モード
3回押し: 最強スクラブ圧洗浄モード

洗浄モードに合わせて洗浄水(EcoFlexモデルは洗浄剤の量も)が変動します。
コントロールパネルを参照してください。



注記

スクラブ圧を変更せずに、洗浄水量を変更するには:

- ① 洗浄水スイッチ(F)を3秒押し続け、表示灯を点滅させます。
- ② 洗浄水量表示灯(K1)に水量が表示されます。(1~5:コントロールパネル参照)
- ③ 希望する水量が表示されるまでスイッチ(F)を3秒以内に繰り返し押します。
その後、ブラシ圧を変更すると洗浄水量は標準設定に戻ります。

6. スクラブONスイッチ(D)を押すと、ブラシ・スクイジー・サイドブラシ(シリンダーモデルのみ)が自動的に床まで下がります。アクセルペダル(8)を操作すると、ブラシの回転・洗浄水の供給・吸引・洗浄剤の供給(EcoFlexモデルのみ)・サイドブラシの回転(シリンダーモデルのみ)が始まります。



注記

アクセルペダルを後進にすると自動的にスクイジーが上がります。

-
7. 人が歩く速度でまっすぐ前に向かって清掃作業を開始してください。
清掃跡が5～7cm重なるように操作してください。
床の状態に合わせて、進行速度と洗浄水量を調整してください。



注記

最大清掃速度はスクラブスピードスイッチ(L)を押すと上がります。
通常モードでは、最大清掃速度が遅く設定されていますが、スイッチ(L)を押すと最大移動速度での清掃が可能になります。
滑りやすい床の洗浄やダブルスクラブ(スクイジーによる吸引を停止しての洗浄)をする場合、マシンのコントロール性とトルクを高めるため、トラクションコントロールスイッチ(B)を押してください。
サイドブラシの高さは調整可能です。(サイドブラシメンテナンス項を参照してください)



注意！

床に損傷を防ぐため、ブラシが回転しているときは本機を移動し続けてください。

8. 清掃作業中は、汚水が全て回収されているか時々本機の後方を確認してください。
汚水の跡が残っている場合は次のことが考えられます。
- ・洗浄水の放出量が多すぎる
 - ・回収タンクがいっぱいになっている
 - ・スクイジーの調整が不適切
9. 洗剤が搭載され起動している場合、最後に使用した希釈率が記憶されます。
EcoFlex スイッチ(G)を押すと、一時的(1分間)にEcoFlexインジケーター(G1)が点滅し、スクラブ圧、洗浄水量が1つ上のレベルに上がり、希釈率が最大になります。
(最大希釈率モードの場合を除く)
その後すべての洗浄パラメータは元の値に戻ります。



注記

EcoFlex スイッチ(G)を2秒間押し続けると、最小と最大希釈率を交互に選択できます。
EcoFlex システムはスクラブシステム(D)が作動している間のみ機能します。

10. 床が汚れがひどい場合、1回の洗浄では足りずダブルスクラブが必要になる場合があります。
ダブルスクラブの1回目は、スクイジーを上げて吸引せずに(バキューム/ワンドスイッチ(I)を押します)、洗浄水を床に残すことで洗浄力を増加させます。
2回目にスクイジーを下げて汚水を回収します。
11. 回収タンクにはシャットオフフロート(15)が付いています。
回収タンクがいっぱいになると本機の駆動以外、すべての作動を停止します。
直ちにタンク内の汚水を排水してください。
フロートが作動すると汚水回収、スクラブ機能は作動しません。



注記

フロートが作動すると、ディスプレイパネルに回収タンク満水表示灯(K7)が点灯し、その他の機能の表示灯がすべて消えます。
回収タンクを空にしても表示灯類が元に戻らない場合、オートシャットオフ機能の不具合が考えられます。
サービスマニュアルを参照し、有資格者による点検を行ってください。

-
12. 洗浄作業を停止するときや、回収タンクがいっぱいになったら、スクラブOFFスイッチ(E)を一回押してください。
スクラブブラシの回転と洗浄水の供給が止まり、スクラブデッキが上がります。
数秒後にスクイジーが上がり、その後バキュームが止まります。
(床やホース内に残った汚水を吸引するため)
 13. 本機を汚水排水場所に移動させてから排水してください。
排水ホース(19)を引き出し、ホースキャップを外します。
(急に汚水が放出しないように、ホース端を水位レベルより上に持ち上げた状態でキャップを外してください)
洗浄水を再注入して清掃作業を再開してください。



注記

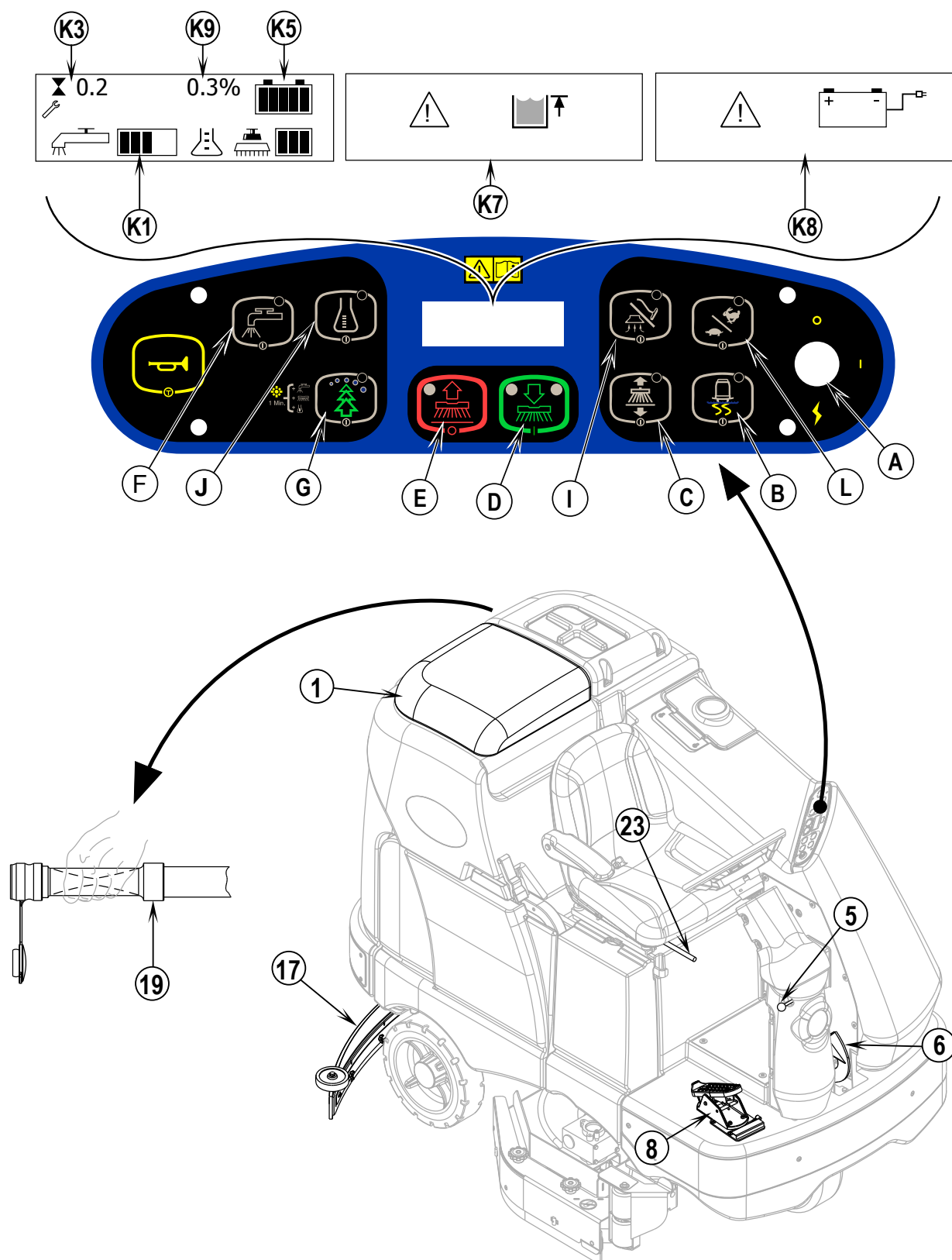
正確に汚水を回収するために、回収タンクカバー(1)と回収タンク排水ホース(19)のキャップが正しく閉まっていることを確認してください。

バッテリーが消耗するとバッテリー残量警告灯(K8)が点灯し、ブラシの回転と洗浄水の供給を停止し、スクラブデッキが上がります。

少し遅れてスクイジーも上がり、そしてバキュームも停止します。

バッテリーの充電場所に移動して充電してください。(バッテリー充電の項を参照)

图9



◆ ワンドキット(ウェットバキューム用オプション)の使用方法

ウェットバキューム用のオプションアタッチメント装備方法です。

1. 回収ホースをスクイジー(17)から外し、ワンドキットのカプラーとホースを回収ホースに接続します。
2. 必要なノズルをホースに接続します。(ワンドキット PN56413687)
3. キースイッチ(A)をオンにし、バキューム/ワンドスイッチ(I)を押します。
バキューム/ワンドスイッチをオフにするまでバキュームモーターとポンプが作動します。



注記

ワンドモードが作動しているときは、回収タンク満水警告灯(K7)は点灯しません。
フロートが作動し、回収タンク内への流入を止めます。

◆ 使用後のお手入れ

1. 洗浄作業を終了したら、スクラブOFFスイッチ(E)を押してください。
自動的にブラシ・スクイジー・バキューム・洗浄水・洗剤(EcoFlexモデルのみ)の動作を停止します。
メンテナンスする場所へ移動させ、日々のメンテナンス作業を行ってください。
2. 固定クランプを外し、洗浄水タンク排水ホース(4)を外します。
排水ホース(19)を引き出し(急に汚水が放出しないように、ホース端を水量レベルまで持ち上げておきます)、排水溝などにホースを向けてから、キャップを外し排水します。
(ホース端をつぶすと、汚水が噴出しないように抑えられます)
きれいな水でタンクを洗います。
回収ホースとバキュームホースの状態を確認し、損傷があれば交換します。
3. ブラシやパッドホルダーを外し、温水で洗い、干して乾かします。
4. スクイジーを外し、温水で洗って再度取り付けます。
5. シリンダータイプの場合、ホッパーを取り外し、きれいにします。
本機の左右どちらからでもスカートを外し、ホッパーを持上げるようにして引き出し取り外します。
6. メンテナンスの項を参照し、日々のメンテナンス作業を行ってください。
7. 屋内の乾いた場所に保管してください。
凍結しないように注意してください。
タンクのふたを開けて、内部を乾かしてください。
8. キースイッチ(A)をオフ(O)にし、キーを抜いてください。

◆ メンテナンス

本機を長く安全にご使用いただくために、定期的に正しくメンテナンスすることをお勧めいたします。
以下にメンテナンスのスケジュールを記載します。このスケジュールはあくまで目安としてお使いください。
実際の使用状況によってはスケジュールを変更する必要があります。
メンテナンス作業は、有資格者もしくは、弊社指定のサービスセンターで行ってください。



警告！

メンテナンスを行う際には、必ず電源をオフにして、バッテリーの接続を外してから行ってください。



注記

このメンテナンススケジュールに記載されていない項目や、緊急のメンテナンス作業については別途サービスマニュアルを参照する必要があります。
弊社サービスセンターにお尋ねください。

メンテナンススケジュール

作業内容	毎日	週1回	月1回	年1回
バッテリー 充電				
タンク & ホース チェック/清掃				
ブラシ/パッド チェック/清掃/入替				
スクイジー チェック/清掃/入替/交換				
バキュームシャットオフフロート チェック/清掃				
バキュームモーターフォームフィルター チェック/清掃				
ホッパー 清掃(シリンダーモデル)				
バッテリー溶液レベル チェック				
スクラブハウジング 点検				
清水フィルター 清掃				
ブレーキペダル チェック/調整				
溶液ホースの清掃(シリンダーモデル)				
洗剤システムの清掃(EcoFlexモデル)				
サイドブラシのメンテナンス				
グリース注油				
バキュームモーターのカーボンブラシの 確認・交換				※
ブラシモーターのカーボンブラシの 確認・交換				※
ドライブモーターのカーボンブラシの 確認・交換				※

※ バキュームモーターカーボンブラシは年に1回または300時間毎、ブラシおよびドライブモーターのカーボンブラシは年に1回または500時間毎に、弊社サービスセンターで点検してください。

機械への注油

月に1度、ベアリング周りのグリースがなくなったら
少量のグリースを注油してください。

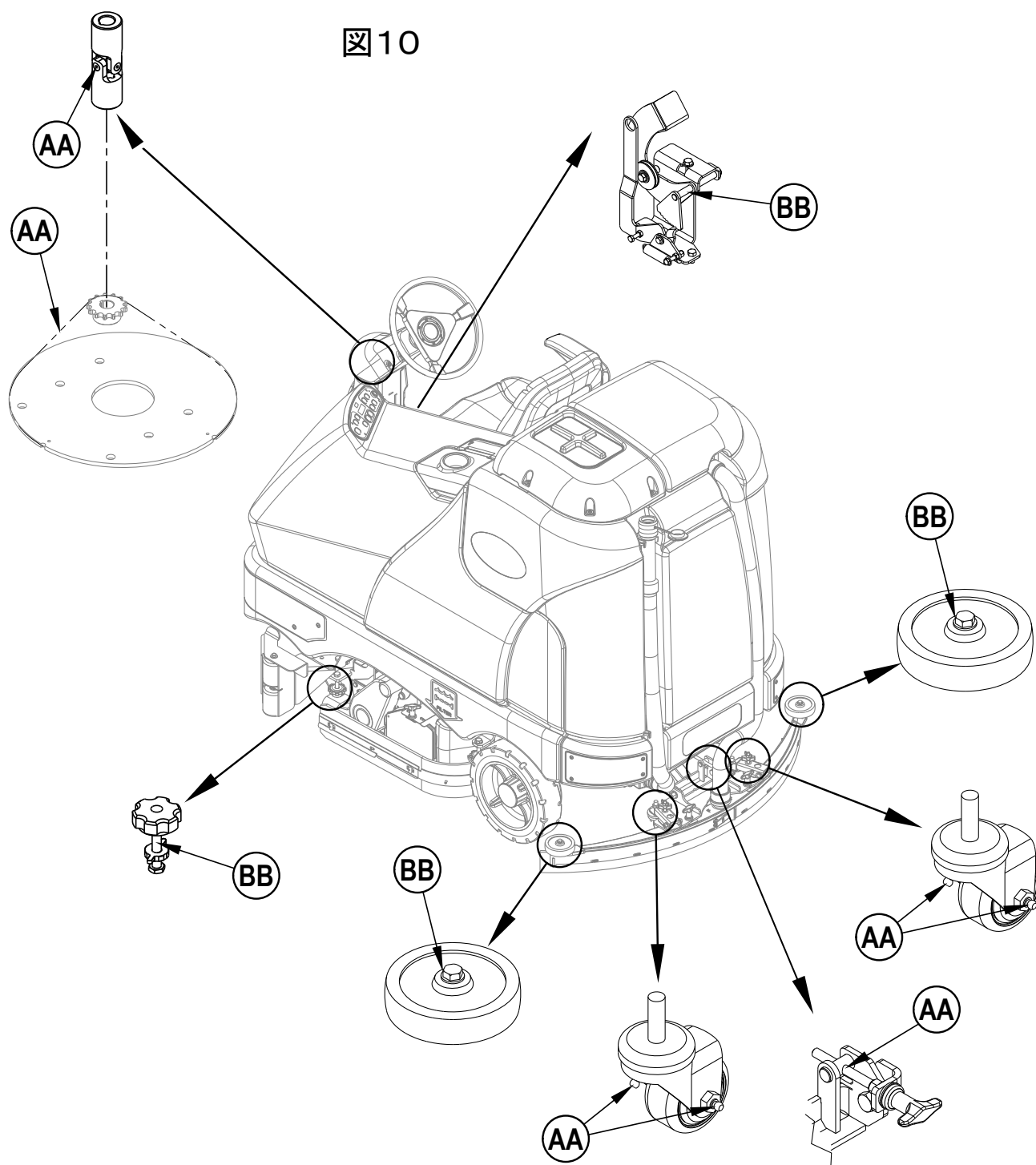
グリースを注油する場所(AA)

- スクイジーキャスターホイール軸とピボット
- ステアリングホイールシャフトユニバーサルジョイント
- ステアリングチェーン
- スクイジーマウント角度調整ノブスレッド

月に1度、機械油を注油してください。
注油する場所(BB)

- スクイジーツールエンドホイール
- ブレーキペダル(パーキングブレーキ)
リンケージ
- サイドスカート調整ノブ

図10



バッテリーのメンテナンス/充電

バッテリーは本機の中で最も費用がかかる交換部品です。

できるだけ長くお使いいただくために、メンテナンスを行い、正しく充電してください。

本機を使用するごとに、また、バッテリー充電レベル表示灯(K5)を確認し、バッテリーが減ってきたときには充電してください。

- ・ フル充電の状態では保管されているとバッテリーが長持ちします。
 - ・ 本機のバッテリーには記録機能はありません。
 - ・ 定期的な充電はバッテリーが長持ちし、供給サイクルも長くなります。
 - ・ 過充電または、充電不足は避けてください。
 - ・ 放電状態で放置するとバッテリーの寿命が縮みます。
1. 図11を参照し、緊急停止/バッテリー切断スイッチ(11)を押してバッテリーコネクタを外します。
 2. サイドアクセスパネル(27)を開け、充電器のコネクタをバッテリーコネクタ(20)に接続します。
 3. 充電器の取扱説明書に沿って充電します。
 4. 充電が完了したら、全てのバッテリーセルの溶液レベルを確認します。
必要があれば、注入チューブ下部まで蒸留水を足してください。



警告！

充電前にバッテリー液を満タンにしないでください。

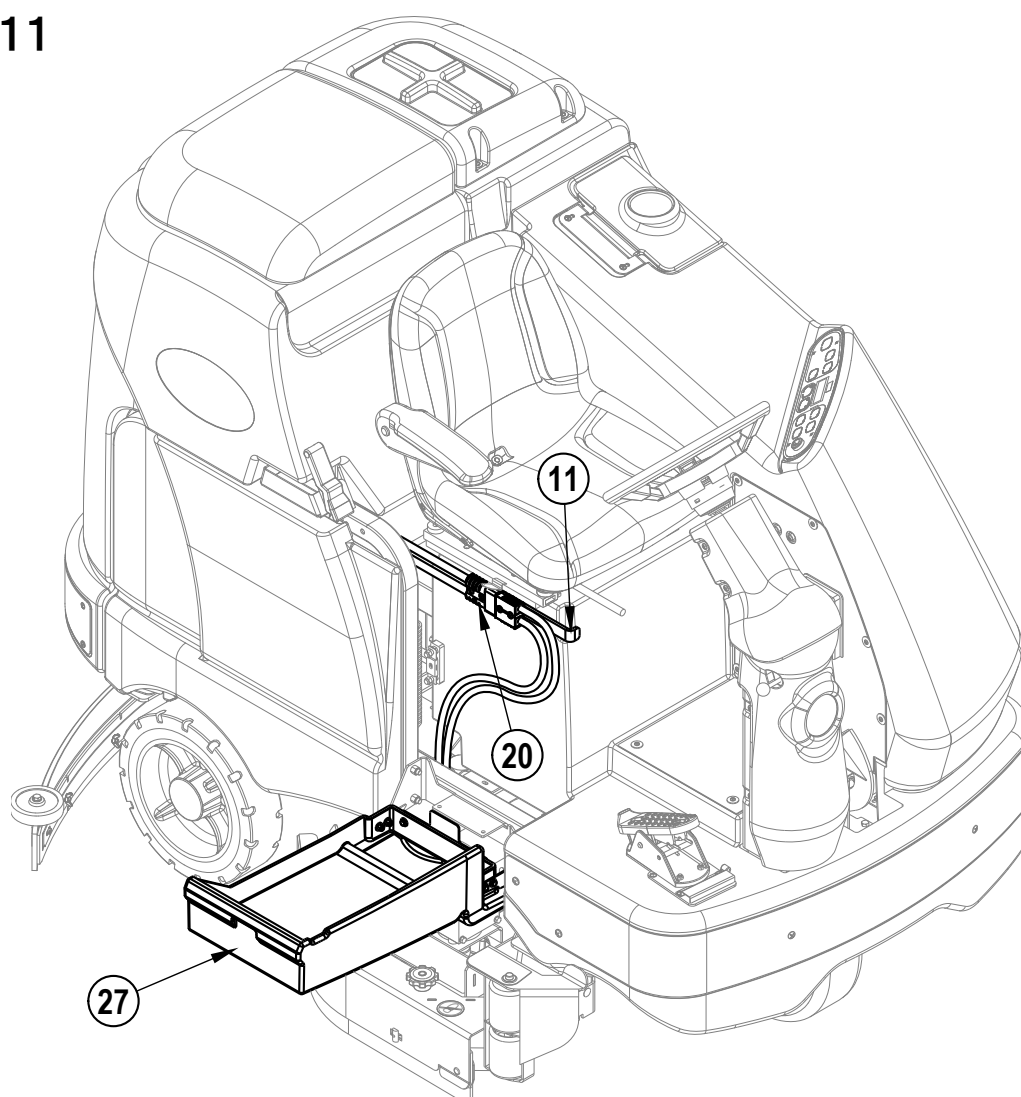
必ず、換気のよい場所で充電してください。

充電中はたばこを吸わないでください。

バッテリーの取り扱い中は：

- ・ すべての装身具を外してください。
- ・ たばこを吸わないでください。
- ・ 保護メガネ、ゴム手袋およびゴムエプロンなどの保護具を着用してください。
- ・ 換気のよい場所で作業を行ってください。
- ・ 同時に複数のバッテリーターミナルに工具を接触させないでください。
- ・ バッテリーの交換時は、電気スパークの発生を防ぐために常にマイナス極(グランド側)ケーブルから外してください。
- ・ バッテリーの取り付け時は常にマイナス極(グランド側)ケーブルを最後に接続してください。

図11



バッテリー液レベルの確認

週に1度はバッテリー液容量レベルを確認してください。

- ・ 充電が終了したらキャップを外し各バッテリーセルの溶液レベルを確認します。
- ・ 蒸留水をレベル表示位置 (またはセパレーター上10mm) まで注入します。
- ・ 入れすぎてこぼさないように注意してください。
- ・ キャップを締めたら、重曹溶液で バッテリー上部を拭きます。
(水1Lに対し小さじ2杯の重曹)



注意!

床面への損傷を防ぐため、充電後にバッテリー上部の水および酸を拭き取ってください。

スクイジーのメンテナンス

スクイジーから細い筋や水跡が残る場合、ブレードが汚れているか損傷している可能性があります。スクイジーを取り外し、温水ですすいで、ブレードに損傷がないか確認します。もし損傷、摩耗があれば、前後を入れ替えるか交換して下さい。

図12を参照してください。

リアブレードの入れ替えと交換

1. スクイジーツールを床から引き上げ、センターラッチ(AA)を外します。
2. テンションストラップ(BB)を外します。
3. リアスクイジーブレードを調整ピンから外します。
4. ブレードはエッジを4箇所(①～④)使用できます。エッジのきれいな部分を機械の前方向に取り付けます。4箇所のエッジがすべて磨耗したらブレードを交換してください。
5. ブレードを取り外しと逆の手順で取り付け、スクイジーの傾きを調整します。

フロントブレードの入れ替えと交換

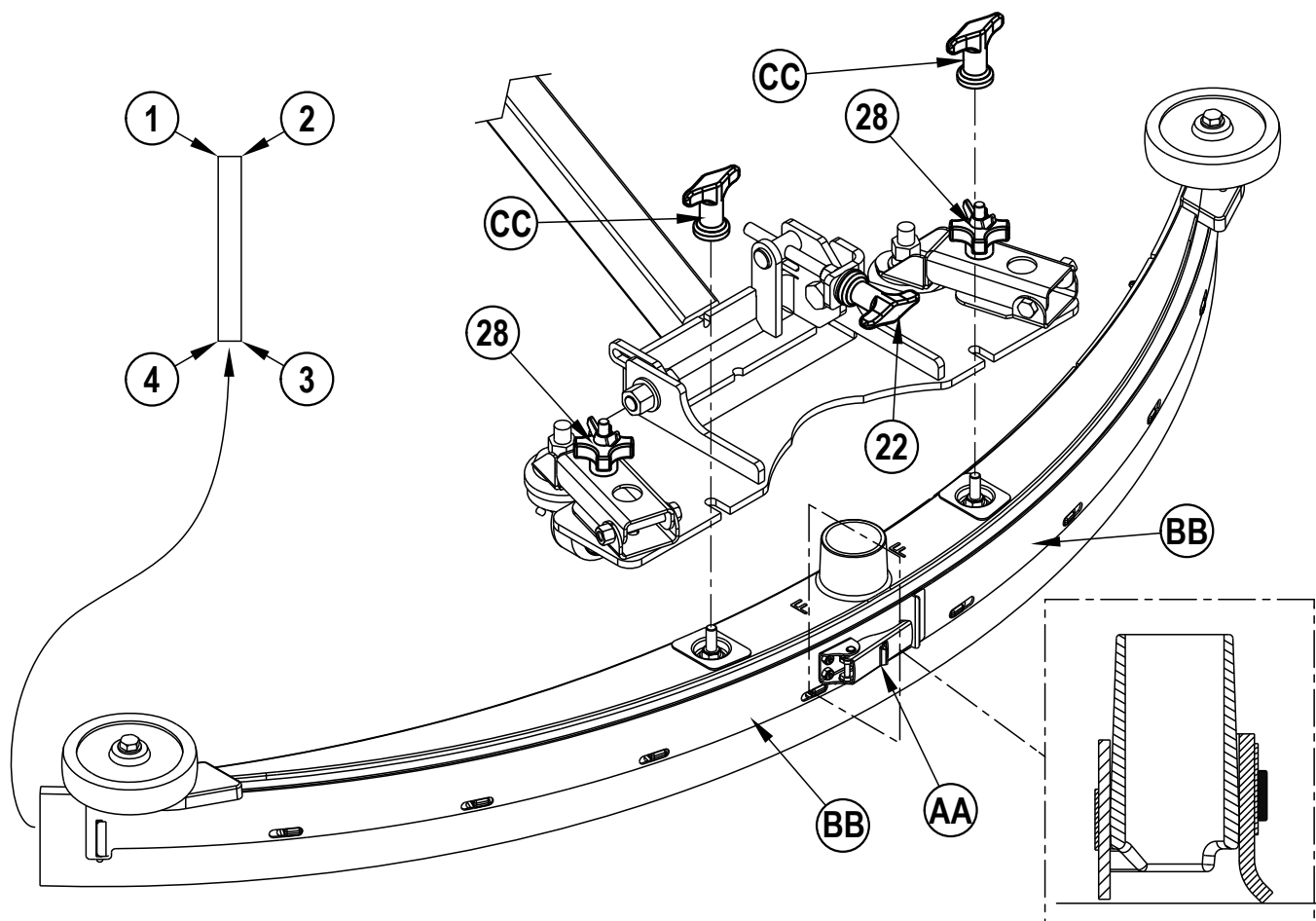
1. スクイジーツールを床から引き上げ、上部のサムナット(CC)を緩め、ツールをマウントから外します。
2. 先ず、リアテンションストラップを外しておきます。
3. フロントブレードを固定しているウイングナットを全て外し、テンションストラップとブレードを取り外します。
4. ブレードはエッジを4箇所(①～④)使用できます。
エッジのきれいな部分を機械の前方向に取り付けます。
4箇所のエッジがすべて磨耗したらブレードを交換してください。
5. ブレードを取り外しと逆の手順で取り付け、スクイジーの傾きを調整します。

スクイジーの調整方法

スクイジーはスクイジー角度調整ノブ(22)とスクイジー高さ調整ノブ(28)を使用して、調整が出来ます。ブレードを入れ替えたり交換したとき、または汚水を回収しなくなったときは調整が必要です。スクイジー角度調整ノブ(22)はブレードの中心から先端までが均一に接地するようスクイジー支柱の角度調整に使用します。スクイジーの高さは工場出荷時に調整されていますが、キャスターの摩耗により定期的に調整が必要です。

1. 本機を平らな床に停車します。
2. スクイジーを下げて、機械をわずかに前進させます。
スクイジー断面図を参照し、スクイジー角度調整ノブ(22)とスクイジー高さ調整ノブ(28)を使用して、リアブレードが端から端まで均等に床に接しつつ、若干後ろに湾曲するように調整します。
3. 高さ調整ノブ(28)を使用して、フロントブレードが床に均等に接地し曲がらないようにスクイジーを適切な高さに調整します。

図 12



スクイジー断面図
フロントブレード リアブレード

サイドスカートのメンテナンス

サイドスカートは汚水を本機の清掃幅内に封じ込め、スクイジーに誘導する役割をします。

日々の作業の中でブレードは磨耗していきます。

サイドスカート下の水漏れに気付いたら、ブレードを下げて高さを調整し、全ての汚水がスクイジーで回収できるようにします。

図13を参照してください。

入れ替え・交換

1. 2つのサイドスカートリテイナーノブ(AA)を緩め、スカートアッセンブリー(BB)をスクラブデッキから外します。スカートを外すには最初に前にスライドさせてから手前に引きます。
2. ブレードをスカートハウジングに固定している金具を全て取り外します。
メインブレードをスカートハウジングに固定している金具はツールレス(工具なし)で取り外せます。
大型のウイングナット(CC)を緩め、スカートハウジング外側のノブ(DD)を回し水平にしてスロットから外します。
ディスクモデルの内側の小さなブレード(EF)はプレートと2箇所のスクリューとナットで固定されています。エッジは表裏の2箇所が利用できます。
3. メインスカートのブレードはエッジを4箇所(①～④)使用できます。エッジのきれいな部分を機械の中央方向に取り付けます。4箇所のエッジがすべて磨耗したらブレードを交換してください。
4. スカートハウジングを本体に取り付け、ブレードの高さを調整します。

サイドスカートの高さ調整

1. サイドスカートハウジングノブにはレベル調整カラー(FF)が付いていて、ブレードの磨耗に合わせて高さを調整できます。
2. スクラブデッキからスカートアッセンブリー(BB)を外し、調整カラー(FF)にアクセスします。
スカートを取り付けたま、スカートリテイナーノブ(AA)を緩め、調整カラー(FF)をスカートハウジングの下から回すことも出来ます。
3. 調整カラー(FF)を回し(上または下に)、ブレードが十分に湾曲し、汚水がスカートの内部に保持されるようにします。



注記

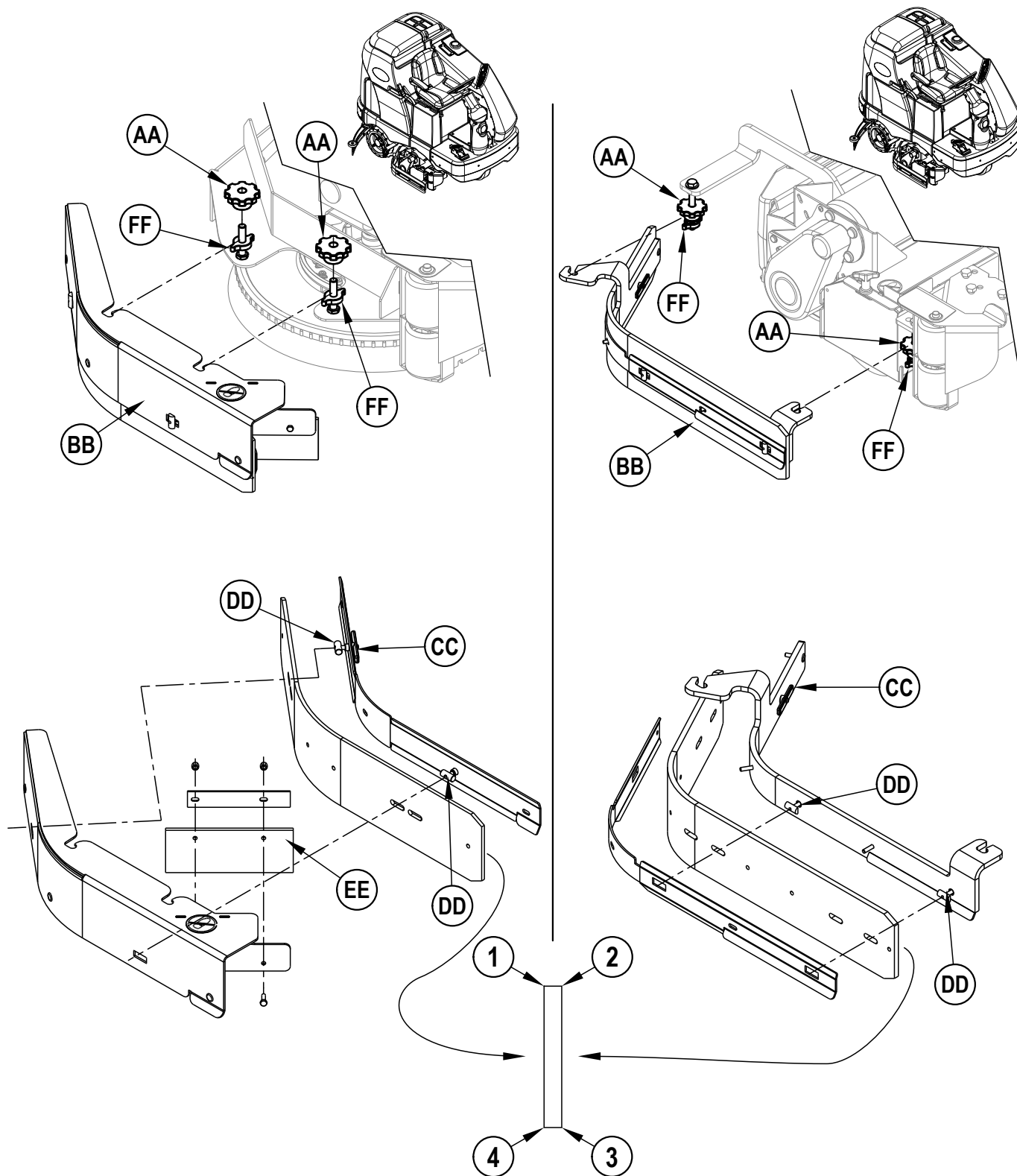
わずかな調整をするだけで、ブレードのふき取りがよくなります。

湾曲が強すぎると、必要以上にブレードが磨耗する原因になりますので、ブレードを下げすぎないでください。

図 13

ディスクタイプ

シリンダータイプ



サイドブラシ(シリンダーモデル)のメンテナンス

サイドブラシは壁沿いや縁石から汚れやゴミ類をかき出し、メインブラシの進路に巻き入れます。
図14を参照し、サイドブラシの動作中にその毛が10時方向(AA)から3時方向(BB)まで床に接するように調整してください。

サイドブラシの調整方法

サイドブラシ調整モードにしてから、ブラシの調整をしてください。

1. キースイッチ(A)をオフ(O)にします。
2. サイドブラシスイッチ(C)とスクラブOFFスイッチ(E)を押し続けます。
3. スイッチ(C)と(E)を押し続けている間に、キースイッチをオン(I)にします。
4. サイドブラシ、スクラブOFF、スクラブONスイッチの表示灯が点灯するまで2秒間押し続けます。
5. スイッチを放すと、ディスプレイ(K)がサイドブラシ調節モードになります。
6. サイドブラシ調節モードになったら、希望する高さになるまで、スクラブオンスイッチ(D)を押し、サイドブラシを下げる、またはサイドブラシスイッチ(C)を押しサイドブラシを上げます。
5. 高さ調整が終わったら、スクラブスイッチOFF(E)を押すと、その高さに設定されます。
サイドブラシが上がりディスプレイにキーアイコンが表示されます。
(キースイッチがOFF/ONを繰り返しています)
5. 設定が完了し、新しいブラシ高が適用されます。



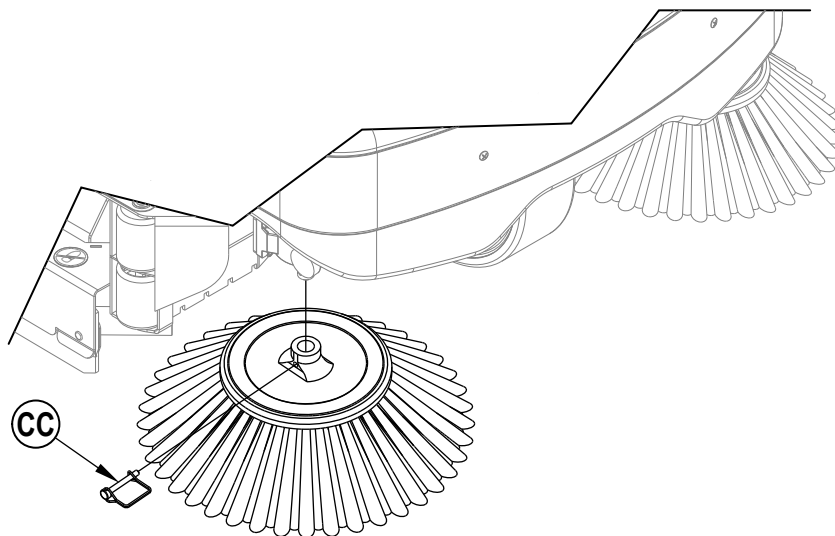
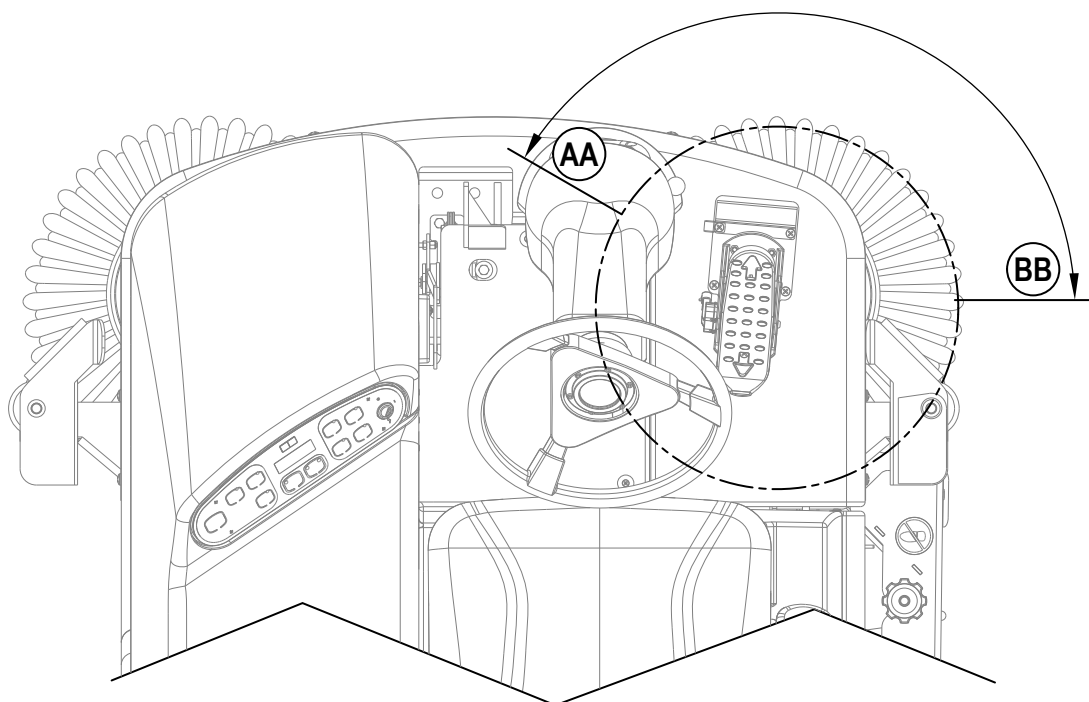
注記

本機を保管するときはサイドブラシを上げてください。
サイドブラシの毛が磨耗して7.6cm以下になったり、うまく清掃できなくなったときは交換してください。

サイドブラシの交換

1. サイドブラシを上げます。
2. サイドブラシを固定しているピン(CC)を外しブラシを取り外します。
3. 新しいブラシをシャフトに差し込んで、ピン(CC)を取り付けます。

图14



◆トラブルシューティング

症状	原因	対策
汚水の回収が不十分	スクイジーが汚れている、またはスクイジーブレードが摩耗/破損している	スクイジーを掃除する、またはスクイジーブレードのエッジを入れ替えるか交換する
	スクイジーの調整が不十分	ブレードが均一に接地するよう調整する
	回収タンクがいっぱいになっている	回収タンクを空にする
	回収タンク排水ホースから水が漏れる	排水ホースのキャップを閉め直す、または交換する
	回収タンクカバーガasketに漏れがある	ガasketを交換する、またはカバーをきちんと閉める
	スクイジーにごみが挟まる	スクイジー周りを掃除する
	回収ホースが詰まっている	ごみを取り除く
	洗浄水の量が多すぎる	コントロールパネルの清水スイッチで洗浄水量を減らす
	フォームフィルターカバーが閉まっていない	カバーをきちんと閉める
スクラブ機能が不十分	ブラシ/パッドが摩耗	ブラシを入れ替える、または交換する
	ブラシ/パッドタイプが間違っている	弊社までお問い合わせください。
	洗剤タイプが間違っている	弊社までお問い合わせください。
	作業速度が速すぎる	速度を落とす
	洗浄水量が足りない	コントロールパネルの清水スイッチで洗浄水量を増やす
スクラブモーターが動かない	20Amp(F3)ヒューズがおちた	ブレーカーをリセットとする
ブラシに洗剤溶液や水が十分に供給されない	洗浄水タンクが空	水や洗浄剤溶液を注入する
	洗浄水の通り道(バルブ、フィルター、溝)が詰まっている	掃除し、詰まりを取り除く
	洗浄水スイッチがオフになっている	スイッチをオンにする
	清水ソレノイドバルブの詰まり、または故障	バルブを掃除、または交換する(*)
機械が動かない	緊急停止スイッチが作動している	バッテリーコネクターを接続し直す
	運転席安全スイッチが入る	ヒューズ切れを確認し、交換する
	メインシステムコントロール	エラーコードを確認(*)
	3Amp(F1)ヒューズがおちた	電気ショートを確認し、リセットとする
タイヤが前進/後進しない	ドライブシステムコントロール	エラーコードを確認(*)
	緊急停止スイッチが作動している	バッテリーコネクターを接続し直す
回収タンクがいっぱいになっていないが、バキュームが止まり"FULL"の表示が出る	スクイジーホースが詰まっている	ごみを取り除く
	速い作業速度で大量の水を吸引	速度を落とす 自動シャットオフ機能が機能しなくなる恐れがある(*)
スweep機能が不十分 (シリンダーモデルのみ)	ホッパーがいっぱいになっている	ホッパー内のごみを廃棄し、掃除する
	ブラシが摩耗している	ブラシを交換する
	ブラシが反っている	ブラシを入れ替える
洗剤が供給されない (EcoFlexモデルのみ)	洗剤カートリッジが空	カートリッジに洗剤を注入する
	洗剤供給システムに詰りがある	排出作業をして、供給ラインをまっすぐに整えてから詰まりを流す
	カートリッジのドライシールキャップが密閉されていない	キャップを閉め直す
	洗剤ポンプ配線が外れている、または接続向きが間違っている	配線を接続する、またはつなぎ直す

(*) サービスマニュアルを参照してください。

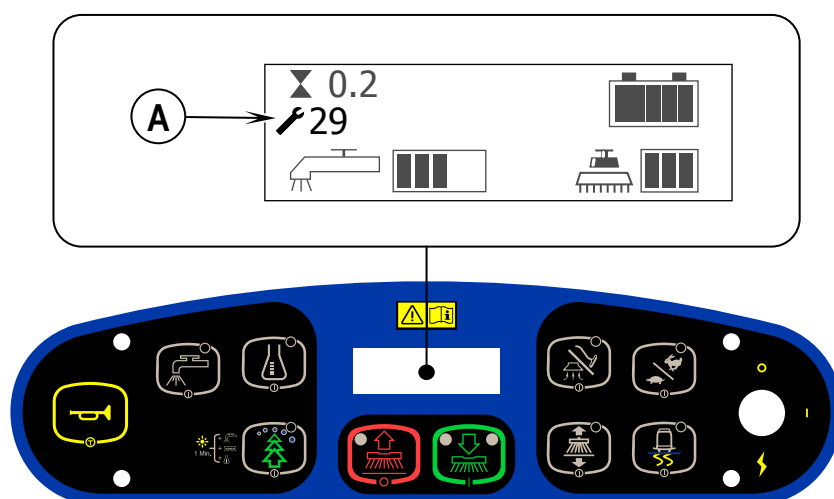
※ 所定の処置方法で回復しない場合は、機械の故障が考えられます。 お買い求め先にご連絡ください。

エラーコード

A2 コントロールボードがエラーを探知すると、コントロールパネルにエラー箇所を示すコードが表示されます。ひとつ以上のエラーが発生する場合は、1秒ごとに各エラーコードを表示します。

エラー(A)があるとレンチマーク  に続いて2ケタの数字が表示されます。

例:  29 はバキュームモーターが開(オープン)になっていることを表しています。



表示	エラー/不具合内容
 01	スクラブデッキ感知R2レジスター不具合
 03	スピードコントロール不具合
 04	スクラブモーター過負荷 注:モデルによって1~3のスクラブモーターを使用
 05	左ブラシモーターコンタクタコイルが過負荷 モーターデッキが3個:コンタクタK4は左モーター用
 06	センターブラシモーターコンタクタコイルが過負荷 モーターデッキが3個:コンタクタK3はセンターモーター用 センターデッキ2個:コンタクタK3は左モーター用
 07	右ブラシモーターコンタクタコイルが過負荷 モーターデッキが2または3個:コンタクタK2は右モーター用、シングルモーターデッキ:コンタクタK2のみ
 08	スクラブデッキアクチュエーター過負荷
 09	バキュームモーター過負荷
 10	K1 バキュームモーターコンタクタコイル過負荷
 11	スクイジーアクチュエーター過負荷
 12	L1 洗浄水ソレノイド過負荷
 13	洗浄水コントロールポンプ過負荷
 16	K6 サイドブラシモーターコンタクタコイル過負荷
 17	サイドブラシアクチュエーター過負荷
 18	K5 補助コンタクタコイル過負荷
 19	バックアップアラーム過負荷
 20	ホーン(警笛)出力不具合

表示	エラー/不具合内容
 21	スクラブモーター 開
 22	左ブラシモーターコンタクタコイル 開
 23	左ブラシモーターコンタクタコイル ショート
 24	センターブラシモーターコンタクタコイル 開
 25	センターブラシモーターコンタクタコイル ショート
 26	右ブラシモーターコンタクタコイル 開
 27	右ブラシモーターコンタクタコイル ショート
 28	スクラブデッキアクチュエーター 開
 29	バキュームモーター 開
 30	バキュームモーターコンタクタコイル 開
 31	K1 バキュームモーターコンタクタコイル ショート
 32	スクイジーアクチュエーター 開
 33	L1 洗浄水ソレノイド 開
 34	L1 洗浄水ソレノイド ショート
 35	洗浄水コントロールポンプ 開
 36	サイドブラシモーターコンタクタコイル 開
 37	K6 サイドブラシモーターコンタクタコイル ショート
 38	サイドブラシアクチュエーターモーター 開
 39	補助モーターコンタクタコイル 開
 40	K5 補助モーターコンタクタコイル ショート
 41	バックアップアラーム 開
 42	バックアップアラーム ショート

◆ 付属品 / オプション

標準部品のほかに、本機には特定の用途に合わせて下記の付属品 / オプションを装備することができます。

- 毛が硬め、または柔らかめのブラシ
- 洗浄水自動注入キット
- バキュームモーターキット
- ビーコンキット
- デラックスシートキット
- オーバーヘッドガードキット
- シートベルトキット
- バッテリーロールアウトキット
- オペレーターフットガードキット
- バックアップアラームキット
- スプレーワンドキット
- ヘッドライトキット
- ヘビーフロントバンパーキット
- フロアマットキット
- ケミカルメーターキット
- チューブフロントバンパーキット

上記付属品の詳細については指定販売店にお問い合わせください。

◆ 材料の組成と再生可能率

種類	装置重量に対する割合 (%)	再生可能性 (%)
アルミニウム	2%	100%
電子機器 / モーター / エンジン、その他	19%	33%
鉄系	51%	100%
ハーネス / ケーブル	2%	81%
液体	0%	0%
プラスチック - リサイクル不可	3%	0%
プラスチック - リサイクル 可	3%	100%
ポリエチレン	21%	92%
ゴム	1%	33%

◆ 洗浄水流量

単位: L/min

	標準			オーバーライド	
	1 bar	2 bars	3 bars	4 bars	5 bars
1100C	2.6	3.2	3.8	5.7	9.5
1100D	3.2	3.8	5.7	7.6	9.5
1300C	3.2	3.8	5.7	7.6	9.5
1300D	3.8	5.7	7.6	8.5	9.5

◆ アフターサービスと保証について

- ご購入いただいた日から、1年間を保証期間とし、保証期間中に発生した故障は原則として無料修理させていただきます。
なお、保証期間中でも、お客様の使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障・損傷及び消耗品につきましては、有料となりますのでご注意ください。
- 使用中にトラブルが発生した場合、修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みいただき点検してください。
そのうえで回復しない場合には、ご自分で修理をせずお買い求め先、または弊社サービスセンターまでご相談ください。
- 保証に関する詳しい内容は、保証書を参照してください。



ニルフィスク株式会社

本 社 〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-5-15 新横浜センタービル7F
TEL：045-620-3658 FAX：045-473-2511

サービス 〒252-0243 相模原市中央区上溝2422-1
TEL：045-620-3659 FAX：042-785-2519

